

43267

教科書文庫

| |
|----------------|
| 4 |
| 290 |
| 41-1904 |
| 01304 58334 |

Kodak Gray Scale

- A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

| | | | | | | | | |
|------|------|-------|--------|-----|---------|-------|---------|-------|
| Blue | Cyan | Green | Yellow | Red | Magenta | White | 3/Color | Black |
|------|------|-------|--------|-----|---------|-------|---------|-------|

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科
41-
01304



中央図書館

教科書文庫

4

290

41-1904

0130458334

地理教科書

外國

二

東京帝國大學農學科大學助教授

理學士

脇水鐵五郎

著



Carthage

東京

金港堂書籍株式會社

広島大学図書

0130458334



No. 7 No. Kanbo
 No. 4. (Auly of —)
 B. Bay.

Handwritten notes and a diagram. The diagram shows a coastline with various points labeled with letters like 'G', 'S', 'M', 'A', 'Y', 'L', 'D', 'C', 'K'. Some labels are written in a cursive script. The word 'Schoolang' is written in the middle of the diagram. Below the diagram, the words 'Lackly' and 'dockly' are written in a cursive script.

凡例

一、本書は主として明治三十五年二月に發布せられたる文部省訓令第三號により、中學校及び之と同程度の諸學校に於ける地理科用教科書たらしむる目的を以て編纂せる地理教科書の一部にして、分ちて三卷とし、第二乃至第四の各學年に各一冊を配當せり。

一、書中地名人名の發音は概ね文部省調査委員の調査報告に依り。参考の爲め其の左側に記入せる原字も亦同じ

一、書中都會名の下に在る數字は其の人口、山名の下に在るものは高さ、河名の下に在るは長さ、湖名の下に在るは面積を示せるものなり。而して都會の人口は單位を萬とし、凡そ二十萬以上に限り、山の高さは尺數を用ひて凡そ一萬尺以上、河の長さは里數を用ひて凡そ五百里以上、湖の面積は方里を用ひて凡

凡例

Handwritten notes along the left margin of the page.

そ千方里以上に限りて記入せり。
 一、書中の統計は主として日本帝國第二十一統計年鑑、一千九百三年版の The Statesman's Year-book. 同年版の A Commercial Geography by Adams. 及び The Century Cyclopedia of Names に採れり。
 一、地圖は参考者の便を圖りて之を別冊とせり。

明治三十六年十二月

著者識す

地理教科書 外國 二目錄

第二章 オセアニア洲

第一節 總論

第二節 オーストララシア

(一) オーストラリア

其の一 總論

其の二 地方誌

西オーストラリア 南オーストラリア クイーン

スランド ニューサウスウェールズ ビクトリア

(二) タスマニア (三) ニュージールランド

第三節 メラネシア

其の一 總論

其の二 各島誌

Handwritten mark

Handwritten red text: 1899年 (1899 year)

| | | |
|------|--------------|----|
| 第十四節 | イタリヤ | 八七 |
| 第十三節 | ポルトガル | 八五 |
| 第十二節 | イスパニア | 八一 |
| 第十一節 | イギリス | 七四 |
| 第十節 | ベルギー | 七一 |
| 第九節 | オランダ | 六八 |
| 第八節 | フランス | 六〇 |
| 第七節 | スウイス | 五七 |
| 第六節 | オーストリア、ホンガリア | 五二 |
| 第五節 | ドイツ | 四四 |
| 第四節 | デンマルク | 四二 |
| 第三節 | スウェーデン、ノルウェー | 三七 |
| 第二節 | ロシア | 二八 |

| | | | |
|----------------|--------|---------|----|
| 第四節 | ミクロネシア | 一六 | |
| 其の一 | 總論 | | |
| 其の二 | 各島誌 | | |
| マリアナ諸島 | カロリナ諸島 | マルシャル諸島 | |
| ジルベルト諸島及びエリス諸島 | | | |
| 第五節 | ポリネシア | 一七 | |
| 其の一 | 總論 | | |
| 其の二 | 各島誌 | | |
| ハワイ諸島 | トンガ諸島 | サモア諸島 | ツシ |
| エテ諸島 | バウモツ諸島 | | |
| 第三章 | ヨーロッパ | 二一 | |
| 第一節 | 總論 | 二二 | |

第十五節 バルカン半島

其の一 總論

其の二 各國誌

モンテネグロ セルビア ローマニア トルコ
ギリシア

地理教科書 外國 一一

理學士 脇水鐵五郎著

第二章 オセアニア洲

OCEANIA

第一節 總論

オセアニア洲とは、主に大太平洋の中に散在せる、許多の島嶼の總稱にして、面積凡そ五十六萬方里、人口六百萬を有し、六大洲中最小の地なり。之を大別してオーストララシア・メラネシア・ミクロネシア・ポリネシアの四部とす。

第二節 オーストララシア

AUSTRALASIA

オーストララシアは、オーストラリア・タスマニア及びニュー・ジラランドを包括す、是「南のアシア」と云ふ義なり。

全土南
球に在り

海陸
凡延岸
里そ四長線
千はの

(一) オーストラリア
AUSTRALIA
其の一 總論

位置 オーストラリア即ち濠洲は、東半球の南東部に位する大島にして、西北の二方は、インド洋に、南は南大洋SOUTHERN OCEANに面し、東は大平洋に臨み、面積凡そ四十九萬方里あり。

地勢 海岸は、屈曲少く、北岸にヨーク半島及びアルネムランド突出して、カーペンタリア灣を擁し、南岸に大オーストラリア灣あれども、兩灣の沿岸は、概ね沙洲斷崖にして、良港なく、西岸も殆ど同様の狀況を呈せり。東岸は、數多の小出入を有して、良港に富めども、其の北東部には、幾多の珊瑚礁錯綜して、航通甚だ困難なり。此等の珊瑚礁を大堡礁と稱し、長さ凡そ五百里に達す。

地形は、周圍に山脈高地連なりて高く、内地は之より稍低け

マ
ル
レ
ー
河

内地甚だ流
域廣大
は土地を占む

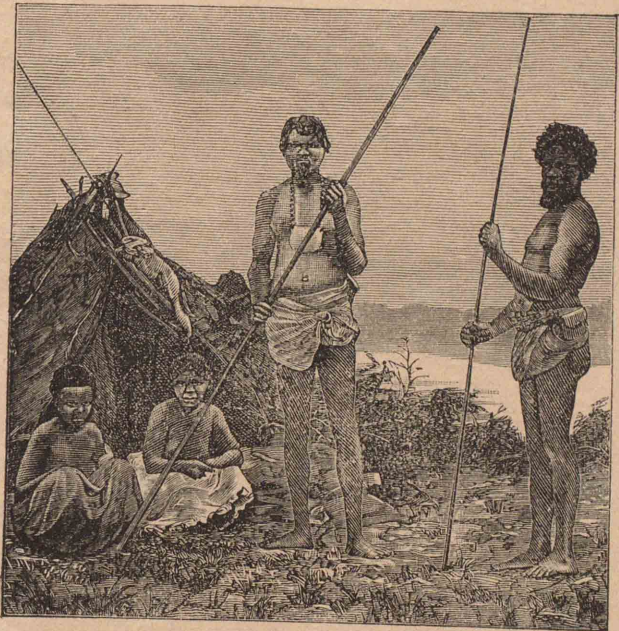
南半球
に在り
對に我ら
な四がな
り季國以
反とてな

れども、概ね高原にて、丘陵起伏し、沙漠處々に在り。山脈の主なるものは、オーストラリアアルプス・ブルー山脈等にして、南東岸に沿ひて連なれり。河流は、一般に水量乏しく、其の最大なるものをマルレー河MURRAYと稱へ、オーストラリアアルプスに發源し、ダーリング河DARLINGを入れ、エンカウンター灣に入る。其の流域は、一大平原をなせり。此の他の河川は、雨季の外は全く乾涸して、河底を現せり。湖水には、トレンス湖TORRENS・エイア湖EYREを始めとして鹹湖多し。

氣候 氣候は、溫熱二帶に跨るを以て、北部は一般に熱帶性にして、南部は溫帶性に屬す。降雨は、比較的北海岸と東海岸とに多く、内地は甚だ稀にして、空氣乾燥を極め、寒暑の差甚だし。

住民 住民は、總計殆ど四百萬人にして、人種上其の大部は

課人頗對支
す頭るし那
税重て人
なきはに



人土の洲濠

ヨーロッパの移住民に屬し、イギリス人最も多く、其の他支那人も頗る多し。而して土着のオーストラリア種は、僅に其の一小部を占むるのみにて、漸次減少す。近來我が國人の來住するもの次第に増加せり。宗教は、基督教にして、教育は、日に

進歩し、既に二三の大學を設立せり。
政治 全土イギリスの領地にして、五個の植民地に分れたりしが、近時改めて各植民地を州となし、近海のタスマニア

島と共に、オーストラリア聯邦と稱し、聯邦總督を置きて、政務を統轄せしむ。

聯邦州名

西オーストラリア 南オーストラリア クィンズランド
ニースウスウェールズ ビクトリア (タスマニア)

産業 天産中、固有の動植物は、他の大陸のものと異なりて、頗る珍奇の種類に富み、植物には、ユーカリ樹ユーカリの如き巨樹、動物には、カンガルーKANGAROOの如き有袋獸、其の他ダックビル・エミューダックビル・エミュー、風鳥等あり。家畜、穀類、果樹の如き有用の動植物は、大抵ヨーロッパよりの輸入に係れども、其の生育著しく、牧畜・農業の如きは、本土主要の生業たり。牧畜は、主に羊を飼養し、羊毛の輸出莫大なり。農産物には、小麦・玉蜀黍・砂糖・煙草等あり。礦物は、頗る豊富にして、中にも金は處々より出で、世界中有數の産金

りる尺高ず珍す十尺二樹ユ
もにさ稀しる尺周百は1
の達五にかもに圍五高カ
あす百はらの達二十さリ

位界に羊
す第於ほ
二て頭
に世數



ルビクダとルガンカ

地とす。其の他石炭銅寶石等あり。近海の眞珠亦其の名著る。外國貿易は、産業の發達と共に漸次進歩し、主なる輸出品を金及び羊毛とす。取引は、重にイギリス及び其の植民地との間に行はれ、我が國へは、羊毛、革皮を輸出し、我が國よりは、米、絹布等を



縦貫鐵道と電信

様に於て、交通極めて不便なれども、鐵道は年々發達し、既に海岸地方に敷設せられたるもの多し。又南東岸より起りて、エイア湖附近に達せる鐵道は、更に北方に延びて、北岸より來る鐵道と連接し、將に本土を縦貫せんとす。航路は、ヨーロッパ、アメリカ及び他のイギリスの各植民地に通じ、定期航海ありて、汽船の往來盛なりしが、近來我が郵船會社も航路を開通せり。陸上電線は、海岸の各都邑を連ね、又縦貫鐵道線に沿ひて、北岸に達するものあり。海底電線は、ヨーロッパ及び北アメリカに通ず。

輸入す。

交通 内地は、道路悪しく、又河湖の舟楫を通じ得るもの殆ど皆無の有

其の二 地方誌

西オーストラリア WEST AUSTRALIA

西オーストラリアは、濠洲の西部に位して、略濠洲全土の三分の一を占む。内地は乾燥にして、地味概ね荒蕪なるが故に、人口甚だ稀薄なり。されど近時各地に採金業勃興せし爲め、移住者著しく増加し、クールガデーを目下産金の中心として、此と首府パースとの間に鐵道を通ぜり。

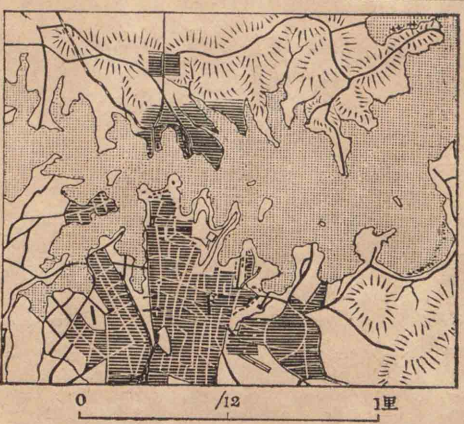
南オーストラリア SOUTH AUSTRALIA

南オーストラリアは、濠洲の中部にして、其の北部を北地方と稱す。域内大部は不毛の沙漠にして、人煙稀疎なれども、南東部は、住民多く、農業、牧畜等行はる。首府アデライドは、セントビンセント灣頭に近く位し、パームストンは、北海海岸に在る港にして、縦貫鐵道の北端とす。

南オーストラリアは、濠洲の中部にして、其の北部を北地方と稱す。域内大部は不毛の沙漠にして、人煙稀疎なれども、南東部は、住民多く、農業、牧畜等行はる。首府アデライドは、セントビンセント灣頭に近く位し、パームストンは、北海海岸に在る港にして、縦貫鐵道の北端とす。

クインズランド QUEENSLAND

クインズランドは、本島の北東部を占め、熱帯地方中、氣候最も健康に適す。首府ブリスベーンは、東海岸に在りて、盛に羊毛を輸出し、北東海岸のタウンズビルには、我が領事館の設あり。共に我が郵船會社の航路に當る。ヨーク半島の北なる木曜島の近海



クインズランドは、本島の北東部を占め、熱帯地方中、氣候最も健康に適す。首府ブリスベーンは、東海岸に在りて、盛に羊毛を輸出し、北東海岸のタウンズビルには、我が領事館の設あり。共に我が郵船會社の航路に當る。ヨーク半島の北なる木曜島の近海

ニューサウスウェールズ NEW SOUTH WALES

ニューサウスウェールズは、域内東邊に山脈連亘し、内部は一般に平原なり。首府シドニー(四九)は、東海岸に位せる有名の良

ニューサウスウェールズは、域内東邊に山脈連亘し、内部は一般に平原なり。首府シドニー(四九)は、東海岸に位せる有名の良

據地隊の根

三人五面
十口千積
萬一方一
人百里萬

メ
ル
ホ
ル
が
ホ
ル
が
ホ
ル
が

島名は
見者か
見者か
見者か
見者か

港にして、羊毛の輸出多く、諸般の設備能く整ひ、我が郵船會社の航路に當り、又領事館の設あり、其の北なるニッカースル

ビクトリア

ビクトリアは、本陸の南東隅を占め、各州中人口最も稠密なり。曾て有名の産金地なりしが、今や其の産額大に減退し、耕作、牧畜盛なるに至れり。南岸なる首府メルボルン(四九)は、オセアニア洲中第一の大都にして、我が郵船會社の航路に當り、盛に羊毛、金を輸出す。

タスマニア

タスマニアは、濠洲の南東に在る大島にして、イギリスの領地なり。沿岸は頗る出入に富み、内地は山嶽起伏すれども、幾多の湖水小河ありて、灌漑の便備はり、加ふるに氣候頗る良

氣候の
好な候
と第一
と第一

一面八
口千積
人八方一
十里萬

島高
山中
凡の
尺二
千そ

好に、地味概ね肥沃なり。住民は、主にイギリス人にして、農業、牧畜に従事す。又造船用の木材に富み、鑛産も豊かなり。首府はホバートと稱して、南岸に位す。

ニージーランド

ニージーランドは、濠洲の南東に當り、南北の二大島より成る。島内山岳多く、殊に南島には、高峯數多あり。又北島には、活火山ありて地震屢起る。氣候は、北島は稍炎熱なれども、其の他は概ね溫和なり。島内牧畜盛に行はれ、多く羊毛、凍肉を輸出す。又鑛産に富み、其の中最も重要なものは石炭にして、金、銅之に



マオリ人

マオリ族の好む文飾あり

ウェリントン

黒人島を意味す

次ぐ。住民の大部分はイギリス人にして、土人マオリ族は、僅に其の一小部を占むるのみ。此の地はイギリスの植民地にして、其の總督全島を統治す。
首府ウェリントン WELLINGTON は、北島に在り。凍肉業・毛織物業盛に行はる。
オークランド AUCKLAND も亦北島に在る良港にして、船舶の出入頻繁なり。

第三節 メラネシア

其の一 總論

メラネシア諸島は、濠洲の北より北東に位して、皆赤道以南の熱帯中に散在す。大島を除く外は、火山島に非ざれば、珊瑚島なり。火山島には、往々活火山あり。諸島皆季候風を受けて、多量の降雨ある故に、植物能く繁茂す。土人は概ねパプア族

方面積五萬人人口

にして、食人の陋習を有するものあり。この内主なる諸島は左の如し。

其の二 各島誌

ニューギネア

NEW GUINEA



極樂鳥

ニューギネアは、又パプア島とも云ひて、濠洲の北方に位し、世界第二の大島なり。山脈島内を貫き、高峯多く、而して火山中、オーウェンスタンリ峰 MT. OWEEN STANLEY (一三、〇〇〇) 最も高し。されど其

の南部は、河流多くして、平原をなせり。氣候は濕熱にして、健康に適せず。一般に植物能く繁茂し、動物には極樂鳥等の美禽多し。行政上西部はオランダに屬し、東部の南半は、イギリス、北半はドイツの保護領たり。主なる輸出品を海鼠・眞珠・コブラ等とす。

BISMARCK
ビスマルク群島

ビスマルク群島は、ニューギネアの北東に位し、コブラを産ず。ドイツの保護領たり。

SOLOMON
ソロモン諸島

ソロモン諸島は、ビスマルク群島の南東に在り、政治上其の北東部の諸島は、ドイツの保護領にして、其の他は、イギリスの保護領たり。

NEW HEBRIDES
ニューヘブライズ

ニューヘブライズは、ソロモン諸島の南東に在り、イギリス・フランス兩國の合同保護地にして、基督教行はる。

NEW CALEDONIA
ニューカレドニア

ニューカレドニアは、ニューヘブライズの南西に位し、氣候溫和地味肥沃にして、ニッケル等の礦物に富み、且農産あり。フランスの領地にして、我が國人の在留するもの多し。首府をヌメアと云ふ。

FUJI
フジ諸島

フジ諸島は、ニューヘブライズ諸島の東に位し、二百有餘の火山島より成り、イギリスの屬地たり。植物能く繁茂し、盛に砂糖・コブラを輸出す。本島は大平洋諸島の殆ど中央に位し、交通の要衝に當るを以て、船舶の寄港するもの多し。

三面 人口百積
萬人 十方一
本島 諸は
平洋 中交に諸は
の平 諸は
と二 諸は
共洋 諸は
二洋 諸は
稱二 諸は
アア 諸は
洲洲 諸は
來來 諸は
船船 諸は
往往 諸は
港港 諸は

小島洲を意味す

第四節 ミクロネシア

其の一 總論

ミクロネシアは、メラネシアの北及び北東に當りて、赤道の南北に散布す。各島皆熱帯に在れども、海風絶えず吹き來りて、氣候比較的溫和なり。分れて火山島及び珊瑚島の二類となる。土人はミクロネシア族にして、漸次衰滅に及び、宗教は基督教行はる。主なる諸島は左の如し。

其の二 各島誌

マリアナ諸島

MARIANA

マリアナ諸島は、又ラドロナ諸島と云ひ、我が小笠原島の南方に當れる火山島にして、富士帶火山脈中に在り。元はイスパニア領なりしが、現今諸島中の最大なるグアム島は、アメリカ合衆國に屬し、其の他は悉くドイツ領となれり。

カロリナ諸島

CAROLINA

カロリナ諸島は、マリアナ群島の南方に位し、長く東西に列る。諸島中珊瑚島多し。是亦元はイスパニア領なりしが、今はドイツ領となれり。

マルシアル諸島

MARSHALL

マルシアル諸島は、カロリナ諸島の東に在りて、多くコブラを輸出す。亦ドイツの領地なり。

ジルベルト諸島及びエリス諸島

GILBERT

ELIOT

ジルベルト諸島及びエリス諸島は、マルシアル諸島の南東に列り、共にイギリスに屬す。

第五節 ポリネシア

POLYNESIA

其の一 總論

多島地を意味す

ポリネシアは、オセアニア洲の東部を占むる幾多諸島の總稱にして、氣候は殆どミクロネシアに同じ。産物は農産を主とし、住民は移住民及び土人にして、土人はマオリ族に屬す。宗教は基督教行はれ、近時佛教も亦稍行はる。主なる諸島は左の如し。

其の二 各島誌

ハワイ諸島

HAWAII

ハワイ諸島は、ポリネシアの最北部を占め、アジア・北アメリカ交通の要衝に當り、面積一千餘方里、人口十五萬餘あり。諸島皆火山性にして、火山に富み、最大なるハワイ島中には、マウナケア(一三、九五〇)・マウナロア(一三、七六〇)の二大火山あり。又キラウエアと稱する火山は、其の火口の周圍一里餘あり、世界最大の火口を有する活火山として有名なり。各島共

又サント
ウイッチ
島と稱す
諸

横そる百て洋社に
濱三理我汽の當
を千にが航航
凡四し東會路

に氣候良好、地味豊饒にして、甘蔗米等の農産多く、牧畜も亦行はる。住民は僅少の土人を除き、其の餘は概ね外國の移住者にして、殊に我が國人の在留するもの最も多く、殆ど六萬人に及び、凡そ全人口の三分の一を占め、支那人之に次ぐ。宗教は主に基督教にして、我國人中には、佛教を奉ずるものあり。政治上此の諸島は元獨立王國なりしが、近來アメリカ合衆國に合併せられて、其の一地方となるに至れり。貿易は、主としてアメリカ合衆國との間に行はれ、砂糖・米の輸出多し。首府ホノルルは、オアフ島に在り、市街頗る殷賑にして、良港を有し、我が領事館の設あり。

トンガ諸島

TONGA

トンガ諸島は、フィジー諸島の東に在り、イギリスの保護を受くる王國にして、コブラを輸出す。

サモア諸島

SAMOA

サモア諸島はトンガ諸島の北東に位し、航通の要衝に當るを以て、其のアピア港には、船舶の出入繁し。重なる輸出品には、**コブラ**、**珈琲**あり。政治、上此の諸島は、元一王國なりしが、近時ドイツ及びアメリカ合衆國の分領する所となれり。

ソシエテ諸島

SOCIETE

ソシエテ諸島は、サモア島の東方に在る火山性諸島なり。中に就き最も大なるをタヒチ島と稱し、氣候溫和、風光絶佳なるを以て著る。**フランス**領なり。

パウモツ諸島

PAUMOTU

パウモツ諸島は、ソシエテ諸島の東に位し、八十餘の珊瑚島より成る。**眞珠貝**の採收頗る盛なり。

第三章 ヨーロッパ洲

EUROPE

第一節 總論

位置區劃 ヨーロッパ洲は、東半球の北西部を占め、其の北端を除く外は、全洲北温帯に位し、北は北極洋、西は大西洋に面し、南は地中海、黒海に臨み、東はカスピ海、ウラル山脈を以て、アジア洲に接す。面積六十餘萬方里にして、六大洲中第五位に在り。分れてロシア、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、ドイツ、オーストリア、ハンガリア、スウェイス、フランス、オランダ、ベルギー、イギリス、イスパニア、ポルトガル、イタリア、バルカン半島等の諸地域となる。

地勢 海岸線の延長は、面積に比すれば、諸大陸中第一に位し、而して大西洋、地中海の二方面に於て、出入最も著し。先づ

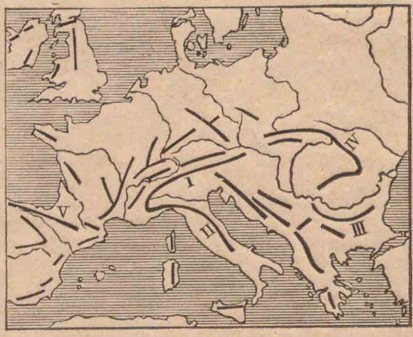
本國に皆のにツリ、カリ、ガリ、タ、六、の、ア、と、大、と、海、總、千、
洲は獨し、中、ロ、ス、ア、ラ、リ、ア、大、中、を、他、工、云、と、延、岸、
の、始、立、て、ド、シ、ス、ホ、ア、強、ひ、除、業、ふ、な、萬、長、線、
諸、國、と、其、イ、ア、ス、ト、を、其、國、五、國、の、凡、九、り

にラ島セア1島シ
相イ及イジゲ及チ
當群びロア島びリ
す島マンのばエア

當半部ア
す島のシ
に三ア
相大南

北極洋方面には、コラ半島東に延び、白海を抱きて、カニン半島に對し、其の北方にノバヤゼムリ等の諸島あるのみにして、一般に屈曲稀なり。大西洋方面には、北にスカンデナヴィアの大半島あり、バルト海及び之に屬するボスニア・フィンランド等の諸灣を抱きて、ユトランド半島に對す。此の二半島と、イギリス諸島との間に、北海あり。イギリス諸島と、イギリス海峽を隔てて、ブレターニ半島突出し、其の南にビスカヤの大灣を控ふ。又イギリス諸島の遙か北方に、イスランドの大島あり。地中海方面には、イベリア・イタリヤ・バルカンの三大半島突出し、最西のイベリア半島は、地中海と、大西洋とを分かち、イタリヤ半島は、サルデニア・シチリア等と共に、チレニア海を抱き、又最東のバルカン半島と共に、アドリア海を擁す。バルカン半島の東には、エーゲ海・エーゲ島あり。エーゲ海と、

に北ア
相部ツ
當平ア
す原の



南部高
原の山
脈

I II III IV V
アアバカヒ
ルニカルレ
フニカパレ
山山山山山
脈脈脈脈脈

マルマラ海等を隔てたる黒海には、クリム半島ありて、アゾフ海を抱く。

本洲は、地形上分れて、ウラル高原・北西部高原・北部平原・南部高原の四地方となる。ウラル高原は、主として、ウラル山脈に由りて、形成せられ、殆ど本洲の東境をなせり。北西部高原は、スカンデナヴィア半島とイギリスの北部とを含み、山脈には、スカンデナヴィア山脈あり。北部平原は、イベリア半島の北東より、東境のウラル山脈に至る大平原にして、分れて東西の二平原となる。前者は、即ちロシア平原にして、後者は更に分れて、フランス・ドイツ等の數平原となる。南部高原は、本洲中最

ヒア山位
マジ脈置
アラとに
ヤの位同

も多く山脈の彙集せる所にして、其の重なるものをアルプ山脈とす。此の山脈は、イタリア半島と、ヨーロッパ中部諸國との境界を走り、東の方バルカン山脈に連なる。又其の一派なるアペニン山脈は、南東に走りて、イタリア半島を貫通せり。其の他、東にカルパチア山脈、西にピレネー山脈等あり。

河流は主にロシア平原の中部なる丘陵と、南部高原のアルプ山脈等に發源す。而して是等發源地は、北東より南西に、凡そ本洲の中央を斜斷するを以て、河流各方面に流れ、水量の配布殆ど偏頗なく、又主なる河流は、概ね運河に由りて聯絡するを以て、灌漑十分に交通の便至大なり。河流中、沿海流域を有する大河には、北極洋斜面に、ペチラ・ドビナ、大西洋斜面に、オーデル・エルベ・ウーゼル・ライン・セイヌ、地中海斜面に、ローヌ、黒海斜面に、ドナウ・ドニエプル・ドンの諸河あり。内地流

ALPS
APPENNINES
CARPATHIAN
PYRENEES
VOLGA
DONAU
DNIESTER

内地は只小地
の附し河に
アも屬し
な又屬し
子の有雙の
せ

ア大部の陸
シ大部の陸
シ大部の陸
ア大部の陸

域を有する大河には、カスピ海斜面にボルガ河あり。湖沼の主なるものは、ラドガ・オネガ等にして、北部に在り。又アルプ山脈中にも湖水多けれど、何れも大ならず。

氣候 本洲の大部は、温帯に位する上に、灣流近海を洗ひ、且諸山脈の位置南西の暖風を妨ぐることに少きを以て、緯度に比すれば、氣候温和なり。而して西部は、一般に海洋性氣候にして、寒暑の差少く、雨量豊かに、中部は西部に比して、海洋の影響を受くること少く、又其の高原部は、空氣稍冷涼なり。之より東部に至るに隨ひ、大陸性氣候となり、寒暑の差強く、雨量稀少なるに至る。されど南北氣温の差は東西のそれよりも割合に少し。但し極南部は熱帶性氣候にして、暑氣長く、極北部は寒帯に在るを以て、寒氣長し。

天産物 植物は、處に由りて異なり。北部は、其の種類甚だ少

密口各
な最洲
りも中
稠人

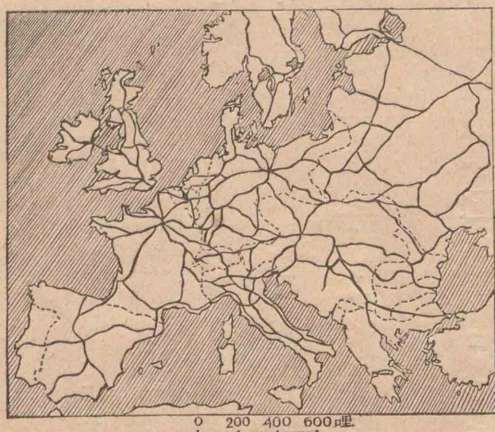
く、僅に蘚苔及び矮小の樹木を見るのみ。中部は、榲桲等の木材及び小麦・裸麥等の穀類を産し、又多く葡萄を出す。南部は、オリブ・柑橘・無花果等の果實に富み、且米・玉蜀黍を産す。極南部には、甘蔗・椰子・芭蕉等の熱帯性植物多し。動物中野獸は、土地一般に開けたるを以て、其の數少く、猛獸は、狼・熊等の二三種に止まること我が國に同じ。されど有益なる家畜は、頗る豊富にして、中にも馬・羊最も多し。鑛物は、ウラル山脈・アルプ山脈の附近及びイギリスに富み、金・銀・鐵・石炭の産額極めて大なり。水産は、スカンデナヴィア半島の近海に多し。

住民 人口は殆ど三億八千萬にして、アジアの半に及ばざれども、面積に比ぶれば、六大洲中最も稠密なり。而して其の密度は、東部及び北端に疎にして、中部以西に密なり。人種上カウカシア・蒙古の二に分れ、前者は住民の大部を占め、更に

位中達交
す第も通
一各の
に洲發

位中歩教
す第は育
一各の
に洲進

行族はりの1新族に舊
はのシ間ト教のラ教
る間ラアにンは間チほ
にブ教ギ族チン重



道鐵要重のバロロヨ

分れて、ラチン・サートン・スラブ・ゲルチ・ユダヤ等の數族となり、ラチン族は、主に南部に、サートン族は中部北西部に、スラブ族は東部に、ゲルチ族は西部に住す。蒙古人種も亦分れて、フィン・トルコの二族となり、主に北部及びバルカン半島附近に居住す。宗教は、一般に基督教にして、分れて舊教・新教・ギリシヤ教の三派となり、舊教最も多くの信者を有し、新教・ギリシヤ教順次に次ぐ。其の他回教・ユダヤ教あれども、共に勢力微々たり。教育は一般に普及し、六大洲中第一に位す。

交通 道路は、能く整ひ、鐵道は四通八達の有様にして、重なる都會

は、一として連絡せられざるはなく、又多くの運河ありて、諸大河を結合し、延いて各方面の大洋を連絡するを以て、舟運の利大なり。海路は、沿岸航路外國航路の發達共に著しく、殊に本洲の位置は、アシア・アメリカ兩洲の間に位するを以て、各國の船舶盛に往來す。其の他郵便・電信・電話等交通機關の設備至らざるなく、盡さざるなし。

第二節 ロシア

位置區劃 ロシアは、RUSSIAロシア平原の全部を占め、ヨーロッパ最大の國にして、北は北極洋に向ひ、南はカスピ海・黒海等に連なり、東はウラル山脈を以て境し、西はバルト海等に接す。面積殆ど三十五萬方里にて、凡そ我が國の十二倍に當り、分ちてバルト沿海州・大ロシア・東ロシア・南ロシア・小ロシア・西

ロシア帝國
シベリア
トランス
カフカ
ス

ロシア・ポーランド・フィンランドの八部とす。

地勢 海岸は、半島海灣の出入多く、海岸線短きにあらざれども、北極洋及びバルト海の諸港は、殆ど半歳の間氷結するの不便あり。又黒海の港灣は、水淺くして、大船を容るるに適せず。加ふるに黒海より、地中海に出づる道路は、自國の管轄に屬せざるを以て、亦便宜少し。

地形は、一望無限の大平原にして、東は歐亞の境なるウラル山脈より、西はカルパチア山脈に至るまで、一の山脈を見ず。唯内部には、バルダイ丘及び之に屬する丘地ありて、南北諸河の分水界をなせども、其の高さ一千尺に滿たず。ウラル山脈は、此の國唯一の山脈なれども、傾斜極めて緩く、最高點と雖も、五千五百尺を出づるものなし。河流は、概ね内地の丘地に發源す。而して地勢の結果に由り、

海岸線
延長凡
二千里

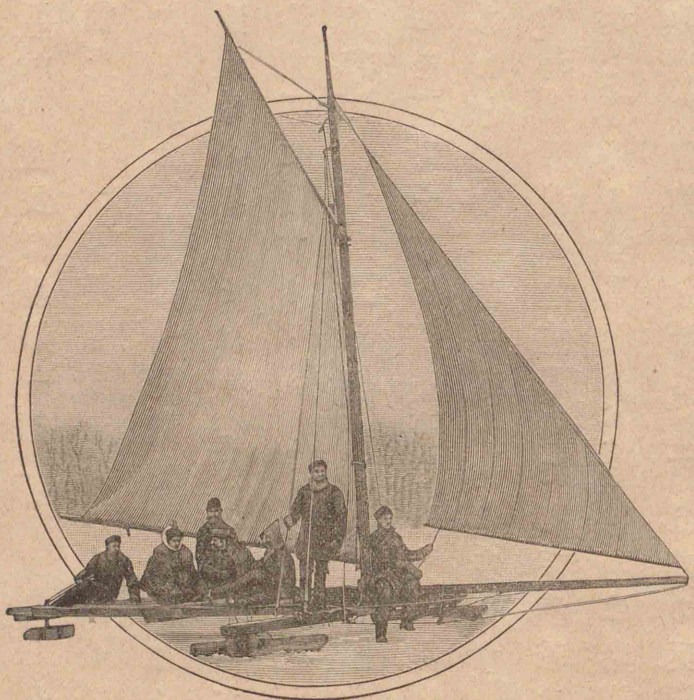
バルダイ
丘

ウラル山
脈

運河は皆
に通航
せざるに
軍艦は

大率長大にして、且流れ緩く、又運河を以て、互に連絡せらるるを以て、産業・交通に便宜を與ふること多し。然れども、北部の河流は、冬季氷結すること長き爲めに、多く用をなさざること、シベリアに於けるが如し。其の他の大河も、冬季の氷結及び交通不便の内海に注ぐに由りて、其の利を殺がるること大なり。河流の主なるものは、北極洋斜面のベチヨラ・ドビナ・バルト海斜面のヅーナ・ウイ・スツラ・黒海斜面のドニエ・ストル・ドニエプル(五〇〇)・ドン、カスピ海斜面のボルガの八大河とす。中に就きボルガ河は、長さ殆ど一千里に及び、ヨーロッパ第一の長流にして、運河に由りて諸大川に通じ、此より各海洋に連絡す。湖水の大なるものを、オネガ湖・ラドガ湖(一、一七〇)とし、後者はヨーロッパ第一の大湖なり。此の外二湖の附近には、小湖多し。

ボルガ河
ラドガ湖



氷の上の帆懸櫂

氣候は、純然たる大陸性にして、ヨーロッパ中寒暑の差最も甚だしく、降雨稀なり。殊に冬季の温度は、同緯度に位する西部諸國に比すれば、一層低く、國中大抵氷雪の世界と化し、北東部に於ては、水銀の氷結すること珍しからず。是北極洋より吹き來る寒風を遮るべき山脈なきを以て、一體に寒氣を被るに因る。

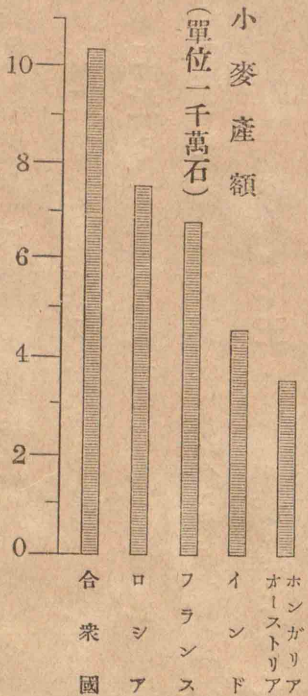
現帝ヲ世ヨ 諸君ノ名ルニ
代ハスニ 國主トシテ
稱第ニ 專制トシテ
皇ニシテ 中制トシテ

住民 住民は、總數一億一千萬、凡そ我が國の二倍にして、人種上スラヴ族最も多く分れて、ロシア人・ポーランド人等となる。此の種族は、一見素朴なるが如くなれども、其の耐忍と、遠大なる氣象とは、實に侮るべからざるものあり。此の外蒙古人種に屬するフィン族・ラップ族は、北西部に、トルコ族等は南部に住す。宗教はギリシア教を國教とし、之に次ぎて盛なるを舊教とす。教育中、高等教育は稍發達し、已に八大學の設あれども、初等教育は未だ進歩せず。

政治 政治は、君主專制にして、皇帝は政治上の君主たると共に、國教の首長たり。中央政府は、參議院・元老院・敎務院及び内閣の四部より成る。陸軍は其の兵數世界第一に位し、海軍も世界第四位に在りて、バルト・黒海・カスピ海の三艦隊より成る。屬地はアシアの北部地方の全體にして其の面積は凡

シ方ノ
ペ黒ト
リ土一
ア地帯

そ本國に三倍せり。産業 産物は、處に由りて種々異同あり。従つて生業も各種に分る。先づ寒帯は、謂はゆるツンドラにして、僅に蘚苔を生じ、次に森林帯ありて、木材を産することシベリアと異ならず。森林帯の南は、麥類及び麻等の産地にして、或は又工業帯とも云ふ。此の國の工業は、近年長足の進歩をなし、殊にウラル山脈は、黄金・白金の貴金屬を始めとして、種々の礦物に富めるを以て、其の地方の製鐵業の如き、最も著しく、其の他各種の紡績及び食料の製造又盛なり。工業帯の南は農業帯にして、有名なる黒土より成り、地味肥え、小麥等の



穀類麻の生育に適す。農業帯以南は、牧畜・漁業及び葡萄の栽培行はる。又近年採油業大に發達して、アメリカ合衆國を凌ぎ、世界の需要高の半額に近き大量を出すに至れり。貿易は主にドイツ・イギリスとの間に行はれ、其の輸入品は、棉花・茶を主とし、輸出品は、穀物・亞麻・大麻等を主とす。我が國より輸入する主要のものは、生絲・陶器・漆器なり。

交通 交通は、河川・運河縱横に通じて、内地の交通に多大の便益を與ふるは、既に述べたるが如し。又鐵道は到る處概ね敷設せられ、延いてシベリアの横斷鐵道となれり。其の他郵便電信等の設備の全きは、言ふに及ばず。

都邑

バルト沿海州

フィンランド灣頭に、此の國の首府ペテル

ブルグあり。人口凡そ一百三十萬を有し、街衢能く整ひ、建築

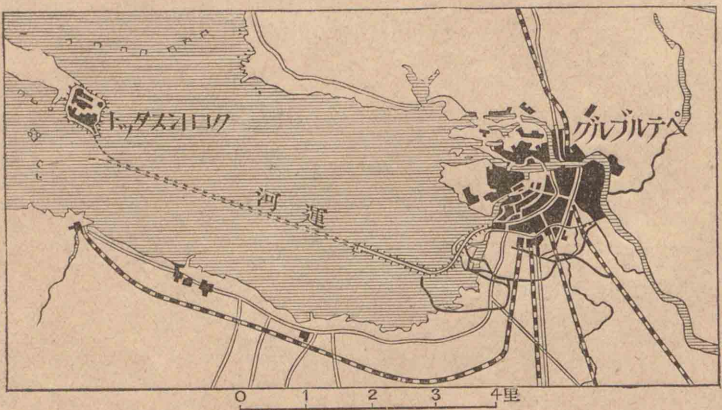
ルペ
グ
ル
ブ

HURIG

FINLAND

PETER-

バのルト根據地
隊の根據地
リガ
不凍港
ナホレのオ
敗北の地

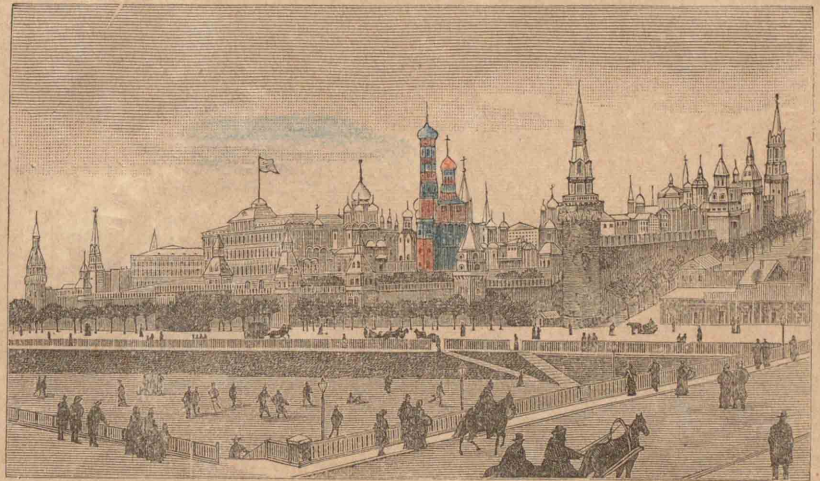


の規模甚だ宏大なり。外國貿易の盛なること、國內第一に位し、又此の國學藝の首腦にして、有名なる圖書館及び大學の設あり。我が公使館及び領事館の所在地とす。其の西に位する小島上に、クローンスマット軍港あり。リガ(二六)はゾーナ河畔に位し、古へより商業繁盛なる處にして、國內有數の開港場とす。附近にリバウの新軍港あり。

大ロシアモスクバ(九八)は、此の國の舊都にして、ロシア皇帝は此の地に戴冠式を行ふを例とす。市の中央なるクレムリンには、宮

KREMLIN

あなにリイ
りるはキバ
巨有寺ン
鐘名院ベ



殿寺院等の壯麗なる建築物多し。元來本市は工業の盛なること國中第一に居り、且國の中央に在りて、國內の貿易及びアジアロシアに通ずる要路に當れるを以て、シモベリア鐵道完成の日は、歐亞兩洲交通の要處として、世界重要の市場となるべし。ニジニノバゴロドは、ボルガ河とオカ河との會合點に位し、毎年期を定めて大市を開く。

東南小ロシア 東ロシアのカザンは、ボルガ河畔に在り、アジア

カスピ海沿岸の根據地

オデッサ

黒海艦隊の根據地

キエフ

ワルシャ

ロシアとの貿易場とす。アストラハンは、カスピ海沿岸の軍港にして、ペルシアとの通商點に當り、漁業盛大なり。南ロシアのオデッサ(四〇)は、此の國南部の最良港にして、小麥・木材等の輸出多し。セバストポルは、クリム半島の南西端に在りて、軍港たり。小ロシアのキエフ(二四)は、ドニエプル河の上流に位し、南西部貿易の中心とす。

第三節 スウェーデン、ノルウェー

位置 スウェーデン、ノルウェーは、二國相並びてスカンディナヴィア半島の全部を占め、北・西・東は北極洋・大西洋・バルト海等に面し、南はスカゲラク・カテガット二海峽を隔てて、デンマルク

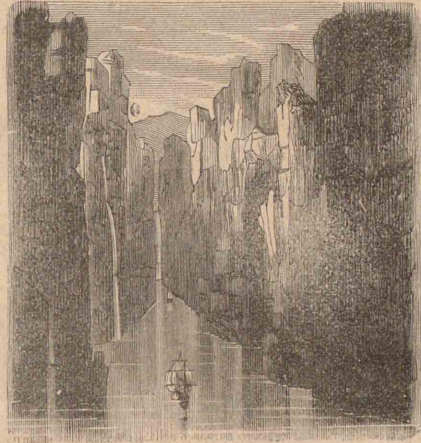
凡そ我が國の二倍が

海岸線は凡そ六千

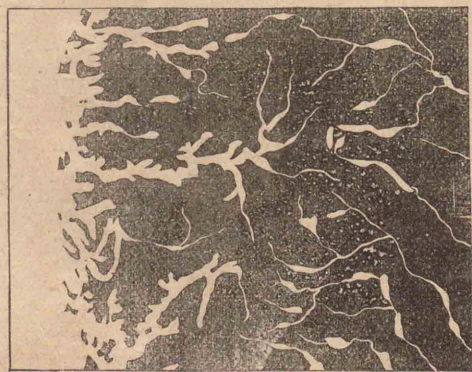
スカンデナヴィア山脈

に對す。面積凡そ五萬方里にして、凡そ其の五分の三はスウェーデンに屬し、五分の二はノルウェーに屬す。

地勢 海岸線の發達は、頗る著しく、殊にノルウェーの西岸は、峽江FIORDSと稱する入海に富み、又其の前面には、無數の島嶼散在して、波浪を防禦す。地形は、スカンデナヴィア山脈大西洋沿岸



(甲) 江 峽



(乙) 江 峽

に近く連亘して、一帯の高地をなし、是より漸次バルト海

ウエーネ
ルエッテ
ルエッテ

に低下せり。されば半島の西部を占むるノルウェーは、域内山地多く、スウェーデンは、之に反して稍平衍なり。河流は、スカンデナヴィア山脈を發源地とし、皆海に向ひて直流する故に、長さ短くして且急なり。特にノルウェーに在りては、山勢海に迫るを以て、水流多く瀧をなして、峽江の岸に懸り、其の景誠に壯觀を極む。されば、河流は運漕の用をなすこと少しと雖も、水力の利用すべきもの多し。湖沼はウエーネルVEENERの二湖を始めとして、頗る多く、而して概ね河流の經路に當る。

氣候 氣候は、西部のノルウェーに於ては、灣流の爲めに緩和せられ、海岸氷結することなけれども、東部のスウェーデンは、大陸性にして、寒暑共に烈しく、冬期は海岸氷結す。雨量は西岸に多く、東岸に少し。又二國共に高緯度に位するを以て、夏

寒帯に
現は北
我が分
の國凡
一のそ
六我が
分が

ラッパ
族の開
未開の
民にの
漁業に
事し家
鹿を馴
す使畜
現は時
カは第
とルオ
世稱第
カは第
とルオ
世稱第

短くして冬長く、寒帯に入りては、冬季夜國となる。

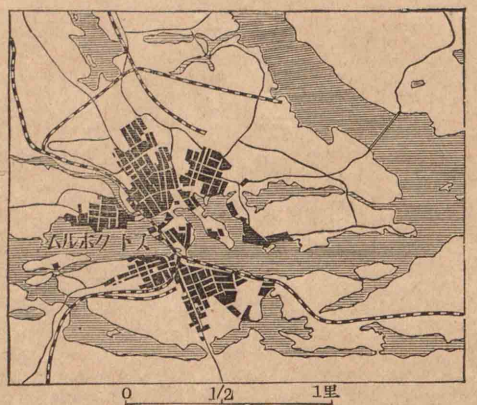
住民 住民は、總計殆ど七百四十萬人にして、スウェーデンは其の三分の二以上を占む。人種は、其の大部分は、NORWEGIAN ナールトン族に屬し、北部にラッパ族等の蒙古人種あれども、其の數甚だ少し。宗教は主に新教行はれ、教育は普及して、古へより學者多く出づ。

政治 外政上二國合して一王國をなせど、内政上兩國各別に立憲政治を行へり。

産業 産業の主なるものは、漁業と鑛業となり。漁業はノルウェーに盛にして、其の北西岸は世界三大漁場の一と稱せられ、鯨・鱈・鮭の漁獲甚だ多し。鑛産は鐵最も多く、其の質良好なり。農業は主に、南部に行はれ、麥類を産す。林産は一般に豊富にして、木材は其の質堅牢なるを以て著る。貿易は主にイギ

ストック
ホルム

クリス
チア



リス・ドイツの間に行はれ、木材、海産物、鐵を主要なる輸出品とし、我が國へも鐵を輸出す。鐵道は比較的發達せざれども、ノルウェーは幾多の船舶を所有し、盛に航海業に従事す。

都邑 スウェーデン ストックホルム(三〇)は、スウェーデンの首府にして、バルト海岸に位する數多の島上に

て、バルト海岸に位する數多の島上に跨り、景色絶佳なるを以て著る。貿易盛に行はる。カテガット海峡に臨めるゲテボルグは、此の國の主要なる港なり。GÖTTEBORG ノルウェー クリスタニア(二三)あり。此の國第一の開港場にして、貿易製造頗る盛大なり。南西海岸のベルゲンは、BERGEN

漁の盛なる處にして、魚類、材木等を輸出す。

第四節 デンマルク

位置・地勢

デンマルクは、ユトランド半島と、其の附近のジ
 ーランド、JUTLAND、JUTLAND、JUTLAND等の島嶼とより成りて、バルト海と北
 海との間に位し、南はドイツに連なり、北はスウェーデン、ノル
 ヴェーに對す、面積凡そ二千六千方里にして、殆ど我が九州に
 等しき小國なり。海岸は概ね出入多く、地形は一般に平坦に
 して、ドイツ平原の一部をなす。

氣候は、國の大部海に面するが故に、一般に海洋性氣
 候にして、稍溫和なれども、空氣濕潤にして霧多く、砂風亦少
 からず。

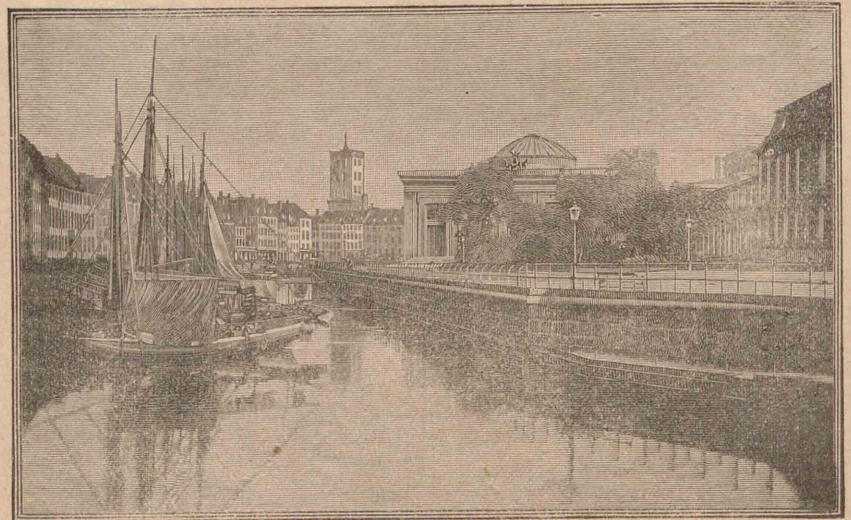
住民は、總數二百五十萬、人種はチウトン族に屬し、性

海陸總凡六
線長一里百
は千の

凡そ我九
の十が
分の一

人時預凡六達一諸の我八
對口蓄そし十主國とれが十
一銀一金圓世中な稱凡國倍
人を行額百に界第るせそす

ヘン
ゲン
コ



勤儉にして、貯蓄を重んず。宗教
 は、新教一般に行はれ、教育は制
 度頗る整ひ、政治は立憲君主政
 體なり。生業中農業は第一に位
 し、牧畜、漁業等は之に次ぎ、貿
 易は重にドイツ、イギリスの
 間に行はる。交通機關の完備
 せるは、言ふに及ばず。此の國
 の大北電信會社は、アジア近
 海の殆ど全部に涉りて、海底電
 線の獨占權を有せり。

都邑 首府コペンヘーゲンCOPENHAGEN
 七は、ジューランド島の東岸に位

し、著名なる大學及び博物館を有す。又貿易上、軍事上バルト海の要地を占め、貿易頗る盛に行はる。

アイスランド ISLAND
アイスランドは、デンマルクの屬地にして、土地寒帯に迫り、氣候甚だ寒さを以て樹木及び穀物なく、唯馬鈴薯と、キアページとを生ずるのみ。されど教育は一般に普及せり。域内火山及び間歇泉に富み、間歇泉には噴出の高さ百尺に及ぶものあり。

第五節 ドイツ

DEUTSCHLAND(GERMANY)

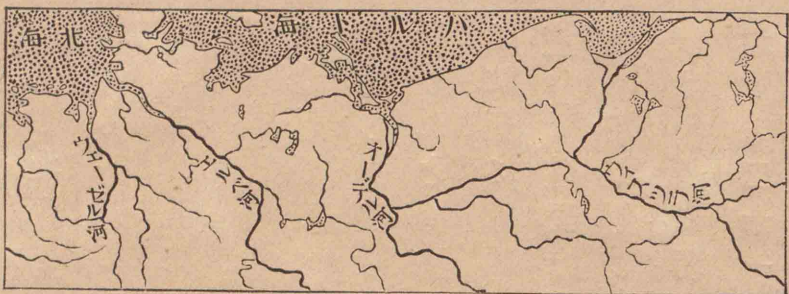
位置・區劃 ドイツは、ヨーロッパの中部に位する大國にして、東・南・西の三方は、ロシア・オーストリア・フランス等の六國と境を交へ、北はバルト海・北海に面し、又デンマルクに接す。面積殆ど三萬四千方里にして、分れて四王國・六大公國・五公國・七侯國・三自由市及び一帝領となる。

我が國より稍大

地勢

海岸は、一般に低平にして、出入に乏しく、ただバルト

しな上には下上
るにも人ドド
處も地文イイ
多異文上ツツ



海岸に往々沙嘴突出して、澤湖を擁するもののみ。地形は、南部は概ね山脈繁くして、高原をなし、北部は平野にして、謂はゆるドイツ平原をなせり。而して凡そ此の高原地方を上ドイツと稱し、平原地方を下ドイツと云ふ。

北の部の河川類
河流には大なるもの多く、概ね河口に良港を有せり。其の主なるものには、バルト海斜面にウイッスラ・オーデルの二河、北海斜面にエルベ・ウエーゼル・ラインの三河、黒海斜面にドナウ河あり。中にもライン河は、國中第一の大河にして、運河を以てドナウ河と

ライン河

相通じ、北海と黒海とを連絡す。又此の河は、史上に有名なり。運河も亦頗る多く、バルト海と北海との間には、有名なるキール大運河あり。

氣候 氣候は、一般に、大陸性なり。而して東部はロシア平原の影響を受くるを以て、寒暑共に強けれども、西部は概ね溫和なり。又南北温度の差は、割合に少し。これ南部地方は緯度低けれども、高原に屬し、北部地方は緯度高けれども、平原なるに因る。

住民 住民は、總數五千六百餘萬人にして、人種は概ね、¹トン族に屬し、性文武を尙び、勇敢にして、愛國心に富めり。宗教は北部に新教、南部に舊教行はる。教育は世界各國中、最も進歩し、二十一の大學を始めとして、其の他各種學校の設備至らざるなく、實に世界學藝の中心と稱すべし。

我が國多し

我が國の學多し

現代は第二の世なり
立憲君主政體にして、プロシア王帝位に在り。
各立憲君主國は、皆別に立憲君主政治を行ひ、自
聯邦表議院を設け、唯兵馬の權と、外國盟約の權とを有
代議士を以て、皇帝任命の太守之を治む。陸軍は精銳
帝國と表議院を設け、唯兵馬の權と、外國盟約の權とを有
織せらるる組織なり

政治 政治は、立憲君主政體にして、プロシア王帝位に在り。されど域内に於ける諸國は、皆別に立憲君主政治を行ひ、自由市は共和政治を敷き、唯兵馬の權と、外國盟約の權とを有せざるのみ。又帝領は、皇帝任命の太守之を治む。陸軍は精銳なること世界無比と稱し、海軍は北海・バルト海・東洋の三艦隊より成りて、世界第四に位す。近來又大に擴張の計畫あり。屬地はオセアニア洲・アフリカ洲等に在りて、其の面積凡そ本國に五倍す。

産業 産業の主なるものは、農耕・牧畜にして耕作は北部平原に於て最も發達し、産物には麥類・馬鈴薯・葡萄等あり。牧畜はバルト海沿岸に盛にして、牛・馬・羊等を飼養し、森林は中部・南部に多く、種々の木材を産す。鑛産には石炭・鐵等あり。工業又盛に行はれ、製造品は綿布・絹帛・毛布・鐵器・麥酒・砂糖等にし

て、砂糖及び麥酒の産額
 は、共に世界第一たり。商
 業も頗る盛大にして、外
 國貿易は世界第三に位
 し、重にイギリス・ロシア・オーストリア・ハンガリアとの間に
 行はる。主要なる輸出品は、毛織物・砂糖・石炭・藥品にして、輸入
 品は棉花・羊毛・小麥等なり。我が國へは砂糖・毛織物・藥品・鐵等
 を輸出し、我が國よりは銅・米・絹布を輸入す。海運業亦頗る盛
 に行はれ、其の他交通機關の施設悉く備る。

都邑

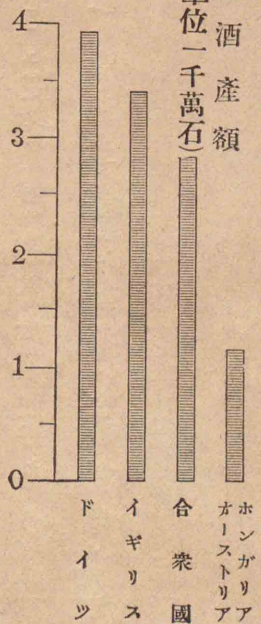
ベルリン

プロシヤ帝領等

BERLIN

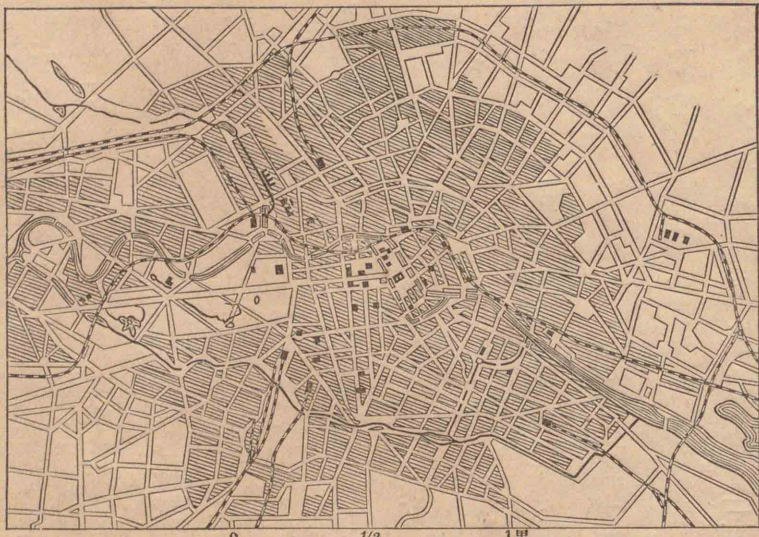
ベルリンは、プロシヤ王國の首府にし
 て、又ドイツ帝國の首都たり。エルベ・オーデル兩河の中間に
 在りて、人口凡そ一百九十萬を有し、商工業の一大中心たり。

麥酒産額
 (單位一千萬石)



ウブレスラ

パル
のト
根據
地
隊
ル
マ
グ
グ
デ
ブ



ベ
ル
リ
ン

又有名なる大學ありて、世界各國より來學するもの頗る夥
 しく、我が國の公使館亦此の
 地に在り。南東部のブレスラ
 ウ(四二)は、プロシヤ第二の都
 會にして、毛織業・鐵工業等盛
 に行はる。ダンケヒ及びケー
 ニヒスベルヒは、共にバルト
 海に臨める良港にして、穀物
 木材の輸出甚だ多し。其の他
 バルト海沿岸にステチンの
 良港及びキール軍港等あり。
 エルベ河畔のマグデブルグ
 (二二)は、製糖業を以て著る。ハ

グ
ハンブル
の北海艦隊
根拠地

ンブルグ(七〇)は、エルベ河口の右岸に位し、ドイツ第一の開
 港場にして貿易盛に行はれ、北東のリューベック及び南西のブ
 レーメンと共に自由市たり。ブレーメンはハンブルグに次
 ぎて、ドイツ第二の開港場とす。北海に瀕するウィルヘルムス
 ハーフェンは、軍港として著れ、ウーゼル河の支流に臨めるハ
 ンノブル(二二)は、東部交通の中心を占む。ストラスブルグは、
 帝領エルサスロートリンゲンの首府たり。ケルン(三七)は、プ
 ロシア西部の大市にして、有名なるゴシック風の伽藍あり、又
 ケルン水の産地とす。エッセンは、名高きクルップの製鋼所を以
 て著れ、フランクフルト(一九)は、世界屈指の銀行市として有
 名なり。

フ
フラン
ク

ド
レス
デ

ケ
ル
ン

エ
ル
ブ

ハ
ン
ノ
ブ

北
海
艦
隊
の
根
拠
地

グ
ハンブル

ンブルグ(七〇)は、エルベ河口の右岸に位し、ドイツ第一の開
 港場にして貿易盛に行はれ、北東のリューベック及び南西のブ
 レーメンと共に自由市たり。ブレーメンはハンブルグに次
 ぎて、ドイツ第二の開港場とす。北海に瀕するウィルヘルムス
 ハーフェンは、軍港として著れ、ウーゼル河の支流に臨めるハ
 ンノブル(二二)は、東部交通の中心を占む。ストラスブルグは、
 帝領エルサスロートリンゲンの首府たり。ケルン(三七)は、プ
 ロシア西部の大市にして、有名なるゴシック風の伽藍あり、又
 ケルン水の産地とす。エッセンは、名高きクルップの製鋼所を以
 て著れ、フランクフルト(一九)は、世界屈指の銀行市として有
 名なり。

フ
フラン
ク

ド
レス
デ

ケ
ル
ン

エ
ル
ブ

ハ
ン
ノ
ブ

北
海
艦
隊
の
根
拠
地

グ
ハンブル

ライ
プ
チ
ヒ

し。ライプチヒ(四五)は、圖書の出版ドイツ第一に位し、又有名
 なる大學を有す。

バ
ワ
リ
ア
・
ウ
ェ
ル
テ
ン
ベ
ル
ヒ

ン、南東部の
 ドレスデン
 と並稱せら
 れ、ウエル
 テン
 ベルヒ王國
 の首府スツ
 トガルトは、
 書籍出版業

藍伽のンルケ

ン、南東部の
 ドレスデン
 と並稱せら
 れ、ウエル
 テン
 ベルヒ王國
 の首府スツ
 トガルトは、
 書籍出版業

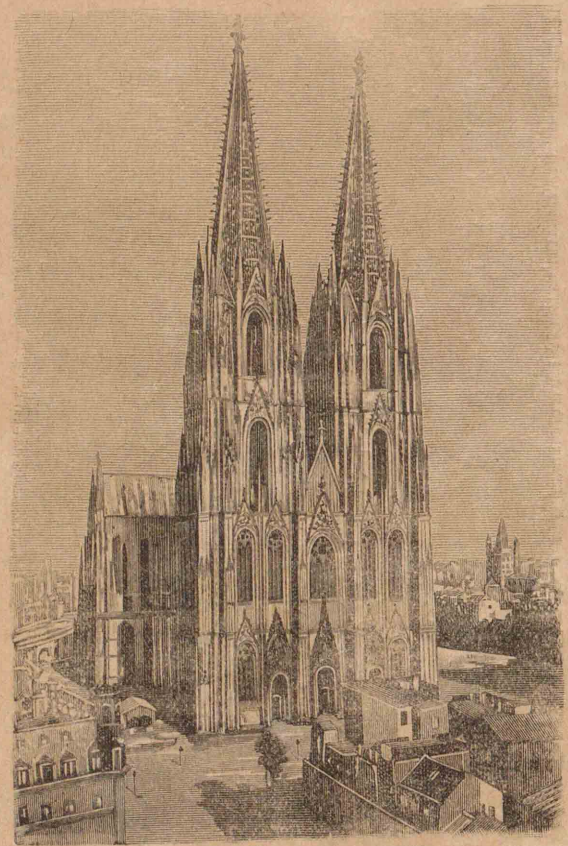
バ
ワ
リ
ア
・
ウ
ェ
ル
テ
ン
ベ
ル
ヒ

ン、南東部の
 ドレスデン
 と並稱せら
 れ、ウエル
 テン
 ベルヒ王國
 の首府スツ
 トガルトは、
 書籍出版業

藍伽のンルケ

ン、南東部の
 ドレスデン
 と並稱せら
 れ、ウエル
 テン
 ベルヒ王國
 の首府スツ
 トガルトは、
 書籍出版業

藍伽のンルケ



を以て聞ゆ。

第六節 オーストリア、ハンガリア

AUSTRIA-HUNGARIA

一倍が國の

カルパチア山脈

ドナウ河

名鐵門なるは狭有

位置 オーストリア、ハンガリアは、ヨーロッパの中部に在りて、ドイツ・ロシア・バルカン半島等に接し、唯南方の一小部のみ、アドリア海に臨めり。面積凡そ四萬方里にして、ハンガリアはオーストリアより稍大なり。

地勢 アルプ山脈南西部に重疊し、カルパチア山脈國の東

ALPS

CARPATIA

境より北境に連なりて、ハンガリア平原を抱く。高原には、國の北東部にボヘミア高原あり。

BOHEMIA

河流中最も大なるは、ドナウ河にして、ドイツ國より來り、

DONAU

ル・カルパチア兩山脈に發する諸川を合せ、國內を貫き、東境なる鐵門を過ぎて、バルカン半島に入る。全長凡そ七百里

隘に近き運河を以て開通するに別し

我が國が少し

に餘り、其の半は此の國に在り。漕運の便大なること、ヨーロッパ中是とライン河とに勝るものなし。

氣候 氣候は、一般に大陸性にして、寒暑の差甚だしけれど

も、海岸地方は、終年概ね溫和なり。

住民 住民は、總數凡そ四千五百萬、而して其の配布の比率

は、オーストリアに六にして、ハンガリアに四なり。人種は甚

だ錯雜し、オーストリアには、チェートン族・スラブ族・ラテン族

等住し、ハンガ

リアには、蒙古

人種に屬する

マギヤール人住

MAGYARS

せり。従つて言

語も頗る多種



マギヤール人

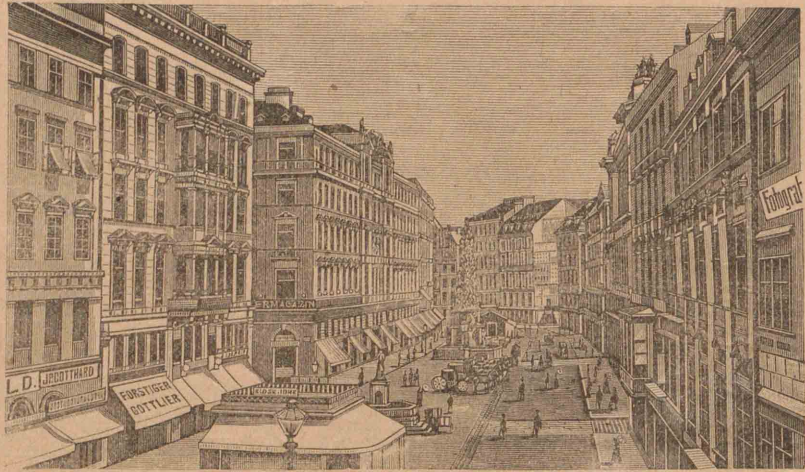
なれども、ドイツ語を國語とす。宗教は新教、ギリシア教最も盛に行はれ、其の他ユダヤ教等行はる。教育は頗る盛にして、十餘個の大學あり。

現
皇
帝
は
第
一
世
と
稱
す

政治 政治は、オーストリア帝國と、ホンガリア王國と聯合して、一の帝國を成し、オーストリア帝は、ホンガリアの王位を兼ね。されど兩國に共通なるは、外交、軍事、財政のみにして、各異なりたる憲法と、上下兩院より成れる議會とを有す。陸軍は頗る強大にして、國境には數多の城塞を築き、海軍も比較的優勢なり。

産業 ホンガリア平原は、地味甚だ肥え、農業盛に行はれ、小麦、燕麥、裸麥、葡萄等の産多く、小麦は麵粉の原料として、天下第一と稱せらる。其の外牧畜業亦盛に行はる。鑛産は金、石炭、鐵、岩鹽等に富み、カルパチア山脈の外方には、一山悉く岩鹽

ウィーン
の
水
山



ウィーン

より成れる處あり。製造品中ボヘミア玻璃は、世界第一の良質なりと云ふ。外國貿易は、重にドイツ、イギリスとの間に行はれ、輸入品は綿布、羊毛を主とし、輸出品は砂糖、穀類、材木を主とす。我が國へは、紙を輸出し、我が國よりは米等を輸入す。交通は河流、運河を始めとして、其の餘の各機關も完備せるを以て、頗る便利なり。

都邑

オーストリア

ウィーンは、オ

あたら京風
りる都景
もに我
の似が

ブ
ラ
ー
グ

ーストリア及び聯合帝國の首府にして、人口百七十萬あり。其の位置、南北の諸海を連絡する通路に當るを以て、商業頗る盛に、又有名なる大學あり、我が公使館の所在地とす。ボヘミア地方のブラーグ(PRAGUE)は、高大なる宮殿・寺院多く、世界屈指の美麗なる市街なり。トリエストは、同名の灣に臨み、此の國第一の開港場にして、取引頗る盛に行はる。アドリア海岸にボラ軍港あり。

ブ
ダ
ベ
ス

ホンガリアの首府ブダベス(BUDA-PEST)は、ドナウ河の中流に於けるブダ市と、ベスト市との聯合せるものにして、穀物の取引盛大なり。其の北東のプレスブルグは、曾てホンガリアの首府たりし所とす。

ボスニア及びヘルゼゴビナ(BOSNIA HERZEGOVINA) 此の二地方は、ホンガリアの南西に在り、共に名義上トルコに屬すれども、實權はオーストリア、ホンガリア

一
面
積
約
十
萬
方
里
約
十
人
口
約
十
萬

凡
そ
我
が
國
の
一
分

ロ
ー
ザ
峰

の握る所たり。

リヒテンスタイン(LIECHTENSTEIN) リヒテンスタインは、オーストリアと、スイスとの境に在る小侯國にして、立憲君主政治を行ふ。

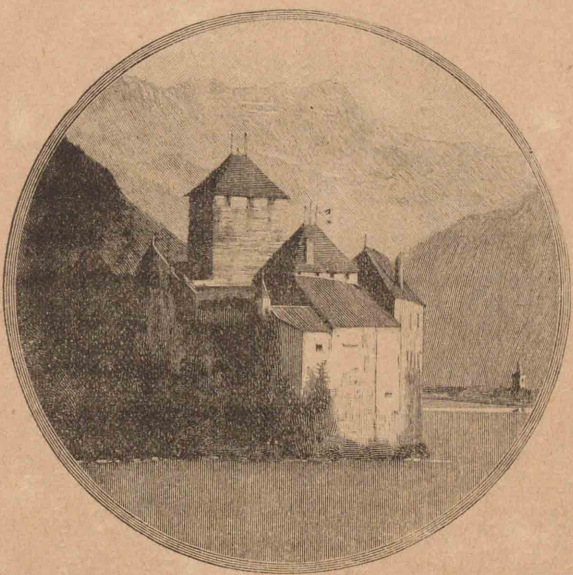
第七節

ス
ウ
イ
ス
(SUSSIS/SWITZERLAND)

位置 スイスは、ヨーロッパの中心に位し、全く海岸線なき一小國にして、東及び南は、アルプ山脈を以て、オーストリア、ホンガリア、イタリアに接し、西及び北は、ユラ山脈等を以て、フランス、ドイツに境す。面積僅に二千六百万方里なり。

地勢 國內山岳多く、ヨーロッパ中地勢最も高峻なり。アルプ山脈に於けるローザ峰(ROSA)は、此の國第一の高峯にして、南境に峙てり。主なる河流は、ライン・ローヌ(RHONE)の二にして、共にアルプ山脈に發し、前者はボージェン湖(BOJENSEE)を通過して、後ドイツに入り、

ボイデン湖
レマン湖



中山 スイス

避暑遊覽の人多く、ヨーロッパの遊園と稱せらる。

氣候 氣候は、地面の高低に由り、一樣ならざれども、域内概ね土地高く、四面の山常に白雪を戴き、氷河横はるを以て、一般に同緯度の地よりも低溫なり。

後者はレマン湖を貫流して、後フランスに去る。地勢

上河流は、一般に山間を流

るを以て、水勢急に、又屢

瀑布をなせり。湖水にはボ

イデン・レマンの外小湖多

し。斯く此の國は、山嶽湖水

瀑布等に富み、風景甚だ美

なるを以て、年々夏季には、

凡そ我が
國の十六分

此の外國
局外中國
の領土に
大統領の
年一の

住民 住民は、總數三百三十餘萬人にして、人種は過半ナット

トン族に屬し、其の他はフランス人・イタリヤ人にして、各言語を異にす。性質は實着勤勉にして、自由を愛し、愛國心に富

めり、宗教は新教舊教の二派にして、前者盛に行はる。教育は大に發達し、主要の都會には、概ね大學の設あり、政治は二十

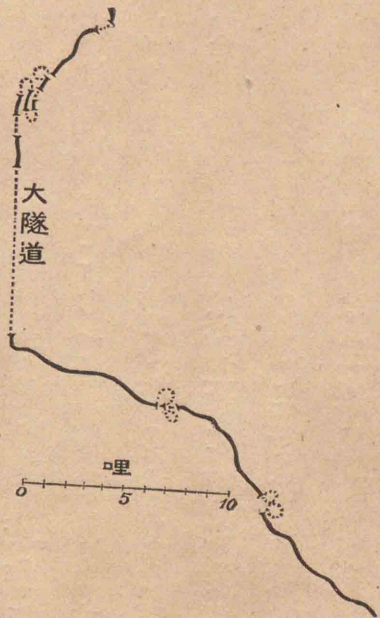
五の自治州より成る聯邦共和政體にして、大統領を選びて、行政部の長とす。

産業 此の國は、平地少く、耕作に適せざれども、林産と牧畜とは、頗る盛にして、乾酪を輸出すること多し。又國中石炭乏

しけれども、急流瀑布の水力を利用して、織物業盛に行はる。又時計製造業は、天下に冠たり。貿易は、主にドイツ・フランス・

イタリヤ等との間に行はれ、我が國へは、時計染料等を輸出し、我が國よりは、生絲絹布等を輸入す。

赤央在ブツリ所事郵萬べ
地社十はウ在務便國ル
たの字萬ネ地所電聯ン
リ所中國！たの信合は



道隧大のドルタゴンサ

タルド隧道は、世界最長の隧道として知らる。

都邑 首府は、國の西部に位して、ベルンと稱す。ツッリヒは同名の湖畔に在りて、絹布綿布の製造盛に行はる。レマン湖畔のジッネーブは、時計製造地として有名なり。

第八節 フランス

位置 フランスは、ヨーロッパの西部に位し、北はイギリス海

り我
稍が
大國
よ

ピレ
ネー
山脈
モン
ブラ
ン山

峽に臨み、東はドイツ・スウイス等の四國に境し、南は地中海及びピレネー半島に、西はビスカヤ灣に接す、面積三萬四千方里あり。

地勢 海岸は、イギリス海峡沿岸にノルマンデー及びブレ

ターニの兩半島ありて、稍屈曲に富めども、其の他は概して

平直の沙丘より成り、良港に乏し。地中海のコルシカ島は、此

の國に屬し、ナポレオンの生地たるを以て著る。地形は、過半

フランス平原に屬すれども、南境にピレネー山脈連なり、ア

ルプ山脈・ユラ山脈等は東境を劃す。アルプ山脈中のモンブ

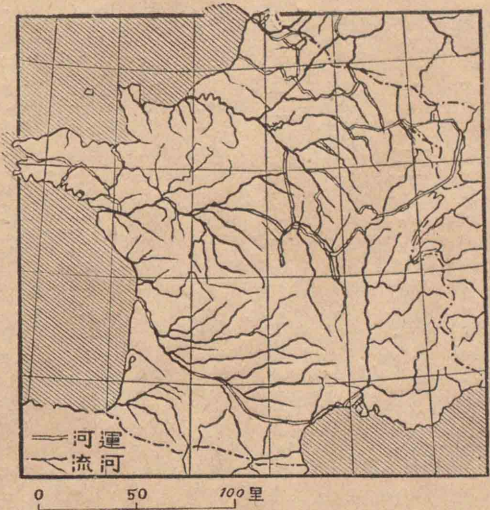
ラン(一六、〇〇〇)は、本洲第一の高峯たり。又國の中部に近く、

數條の低山脈蟠りて、高原を成す。河流は東部・南部の山地よ

り發し、三方の海に注ぐ、概ね緩流にして、流域廣く、又運河を

以て連續せらるるに由り、頗る水運の便あり。其の主なるも

セイヌ河
ロアル
河等



河運と流河のスラフ

のには、イギリス海峡斜面に
セイヌ、ピスカヤ灣斜面にロ
SEINE
アル・ガロンヌ、地中海斜面
LOIRE GIRONNE
にローヌあり。中に就きロー
RHONE
ヌ河は、山間を流れ下り、舟行
の便少けれども、景色佳麗な
るを以て著る。

氣候 氣候は、海洋の影響を

受け、概ね溫和にして、ヨーロッパ中第一たり。されど東部の山
地は、大陸性にして、寒暑の差著しく、南部地中海沿岸は、ア
リカ洲の熱風を被り、暑氣強く且長し。

住民 住民は、總數三千八百餘萬にして、人口著しく増加せ
ず。人種は、其の大部はケルチ族・ラナン族・チャートン族の混合

五の約
六我が
分の國

らる質國類
るとに人る
種類の我
せせ性が

せるものにして、此の外少數の純粹なるケルチ族及びカウ
カシア種の一派と云ふバスク族あり。住民は、輕快にして、自
由を愛し、愛國の精神に富めども、堅忍不撓の氣象に乏し。言
語はフランス語にして、宗教は一般に舊教行はれ、新教は微
々たり。教育は高等中等教育共に進歩し、文學・技藝隆盛を極
む。又初等教育も、普佛戰爭以來著しく發達せり。

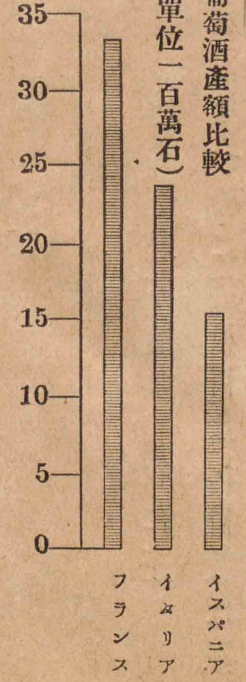
政治 政治は、共和政治にして、大統領ありて、行政部の長た
り、任期を七年とす。外に上下兩院ありて、立法を司る。陸軍は
世界第三に位し、邊疆に數多の要砦を設く。海軍は地中海・北
海・極東・大西・大平・インド等の諸艦隊より成りて、世界第二に
位す。屬地はアジア・アフリカ等の五大洲に散在し、其の面積
本國に二十倍し、人口亦是より多し。
産業 産業は、農業を第一とし、葡萄は國內頗る廣く栽培せ

有シ名の酒ヤ北のなる方
 名ヤ北の酒なる方
 なは東シの酒なる方
 なる國部の地出

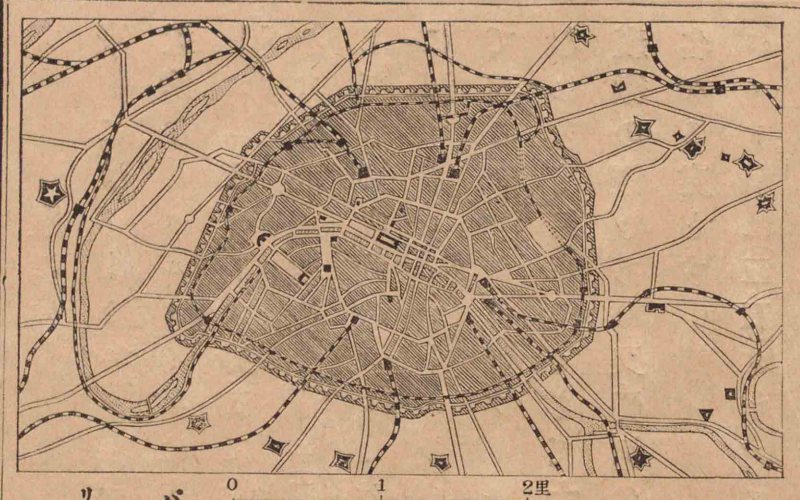


樹ブリオ

らる。而して凡そ國の北部は、穀物地
 方と云ひて、専ら小麥を産し、中部は
 葡萄酒の醸造額世界第一に位す。南
 部はオリブ油地方と稱して、同油を出し、養蠶亦盛に行は
 れ、玉蜀黍・桑・柑橘類繁殖す。鑛産は比較的僅少なれども、鐵石
 炭・石材を出すを以て、工業頗る盛に行はれ、殊に工藝品の雅
 致なる、世界にて匹敵する國なし。主なる工産を絹織物・酒類・
 陶器・裝飾品等とす。商業も頗る盛大にして、貿易はイギリス・
 ベルギー・ドイツ・アメ
 リカ合衆國との間に (單位一百万石)
 行はれ、穀物・羊毛・生絲
 を輸入し、毛織物・絹布・



パリ



綿布・葡萄酒等を輸出す。我が國よりは、生絲羽二重・絹手布の
 輸入多く、我が國へは毛織物・葡萄酒等を輸出す。交通は、各種の交通
 機關能く備はり、陸上海上共に便
 利を極む。
 都邑 國都 Paris は、セーヌ河に跨
 り、人口二百六十餘萬を有し、世界
 第三の大都會たり。されど街衢の
 清雅建築の優美なる點に於ては、
 實に世界第一とす。加ふるに風俗
 華奢にして、當世流行の起原地と
 稱せらる。府の周圍は、堅牢なる外
 郭を廻らし、近傍には要砦を設け

リール

て守備を嚴にせり。當市には我が公使館を置かる。主なる建築物には、ノートルダム寺院、凱旋門、エーフェル塔等あり。市の近傍なるベルサイユは、宏壯なる宮殿あるを以て著る。ルアールはセーヌ河口に位し、イギリスと盛に商業上の取引をなす。北東境のリール(一一)は、綿布・毛布の製造盛なる處にして、其の北西のカレール(一二)は、イギリス海峽の要津たり。同海峽に瀕するシェルブール及び西岸のブレストは、共に軍港として著る。ナントは、ロアール河口に近き處に位する繁榮の港なれども、河水淺くして、大船自由に出入せざるを以て、漸次衰微の傾きあり。又同河の半途なるオルレアンは、歴史上有名なる處とす。

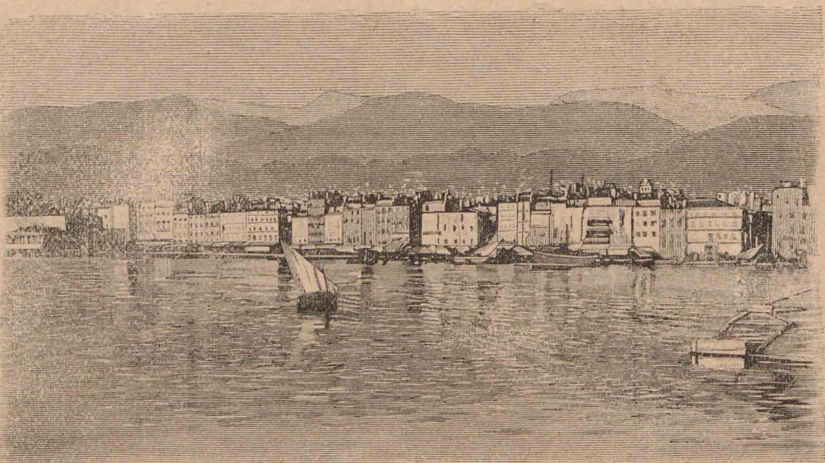
ボルドー

ボルドーは、(二五)ガロンヌ河に、沿ひ、當國主要の葡萄酒輸出港にして、種々の工業行はれ、特に葡萄酒の醸造盛なり。ツ

リヨン

なそる横ユマ
り九こ濱はル
千とな我セ
湮凡距がイ

地隊地
の中
根海
據經



ルーズは、ミゼ運河のガロンヌ河に會する處に位し、大西洋・地中海間、交通の要衝に當り、絹織業盛なり。リヨン(四五)は、ローヌ河に臨み、國內第三の都會にて、絹織業の盛なること世界第一と稱せらる。我が領事館の所在地たり。マルセイユ(四九)は、地中海に瀕し、國中パリに次ぐ大都會にして、ヨーロッパとアジア・アフリカとの交通の要衝に當り、貿易の繁榮なること、國內第一に位す。此の地の南東に當れるトゥロンは軍港と

一面積凡そ
千一萬三
口一人三
六方積三
千里人十

して有名なり。

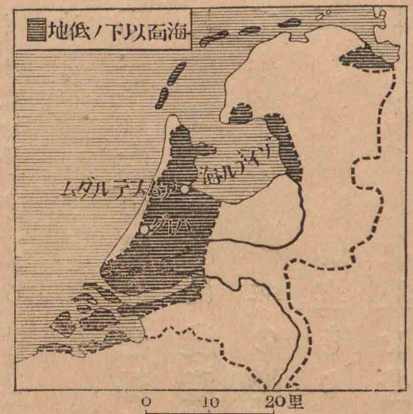
モナコ MONACO は、フランスの南東隅に位し、同國の保護を受くる一小
侯國なり。

アンドラ ANDORRA は、ピレネー山脈中に位する一小共和國にして、フ
ランス及びイスパニアの共同保護を仰ぐ。

第九節 オランダ
HOLLAND

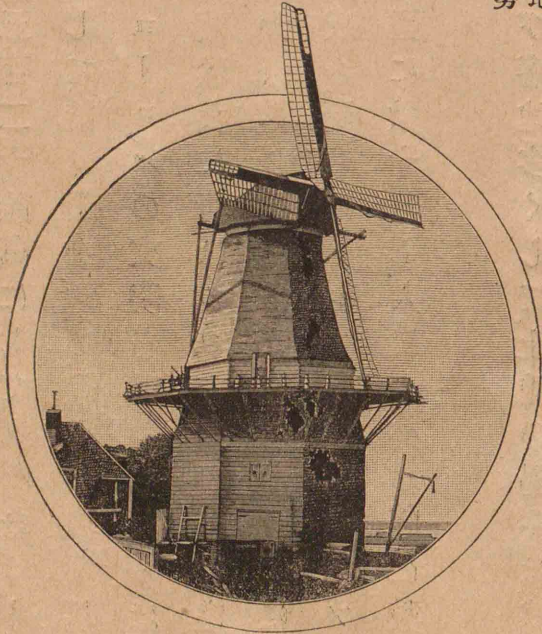
位置 オランダは、ドイツの北西に位し、北海に臨める王國
にして、其の面積僅に二千一百餘方里、殆ど我が國の臺灣に
同じ。
地勢 沿岸は、頗る屈曲し、ゾイデル海深く内地に入り込め
り。オランダとは、低地の意にして、其の地勢頗る低平に屬し、
海面より低き處少からず、故に沙丘又は堤防によりて、海水

等
ライン河



勢地のダンラオ

數派に分支して海に入
る。河口に島嶼多し。
氣候 氣候は、大抵溫和
なれども、濕氣多く、又東
境地方は、冬季頗る寒烈
なり。



車風

の侵入を防ぎ、且風車を利用して、
瀧水を排し、陸地の擴大を計れり。
重なる河流は、ライン・マース・シヘル
トの三河にして、皆他國より來り、

の國凡
一のそ
九我
分が

稱ルウ王國
すミに王
ナルしは
とへて女

住民 住民は總數殆ど五百二十餘萬にして、人種はケルトン族に屬し、質朴温厚にして、能く業を勉め、最も航海貿易に熟練せり。夙に我が國にヨーロッパの文明を移植したるは、此の國人とす。宗教は新教舊教共に行はるれど、前者甚だ盛なり。教育は普及し、四個の大學あり。政治は立憲君主政體にして、國會は上下兩院より成る。屬地は、アジア及び南北兩アメリカに亙り、其の面積本國に數十倍し、人口も亦本國に數倍せり。

産業 此の國は、沼澤及び瘠地多くして、土地の過半は、耕作に適せざる故に農産少し。産業中首位を占むるは牧畜にして、牛酪・乾酪・牛・羊の輸出多く、漁業此に次ぎて稍盛に行はれ、青魚・大口魚等名あり。工業は石炭乏しきを以て、風力・水力を利用して、織物業を營む。商業は古へより盛に行はれ、重にド

ハ
ー
グ
の凡ルア
在小そダム
リ島九ムス
上十はテ

イツ・イギリス・ベルギー等と取引し、我が國よりは米・陶器・漆器等を輸入す。交通の便頗る良く、殊に内地には、河流の外、運河縦横に通ずるを以て、水利甚だ大なり。
都邑 國都はハーグ(二)と云ひ、近時萬國平和會議の開かれし地にして、我が公使館あり。アムステルダム(五)は、ゾイデル海に瀕する數多の小島上に位し、ヨーロッパ中有數の開港場にして、貿易工業盛に行はれ、殊に金剛石の琢磨を以て著る。ロッテルダム(六)も亦良港にして、商工業盛大なり。

第十節 ベルギー

位置・地勢等 ベルギーは、オランダと、フランスとの間に在る小王國にして、面積一千九百方里、我が九州に及ばず。域内南東部を除き、一般に平原にして、殊に西部には、海面より

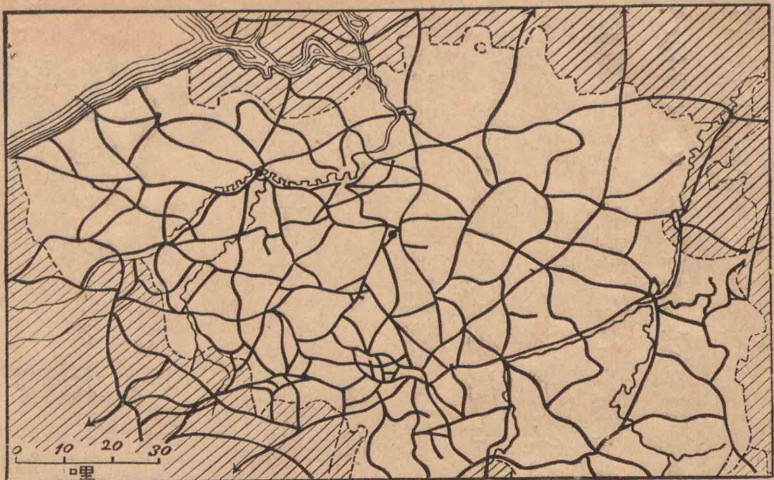
河シマ
ニス
ルデ
ス河

の國凡
一のそ
七我
分が

立く軍は此二ホ王現
國局の全の世ルは代
た外設く國なドレの
り申な海にり第オ國

低き處あり。マース河・シエルデ河は、數多の運河と連絡し、交通の便頗る多く、氣候は稍大陸性を帶び、東部は冬日寒氣嚴しく、西部は濃霧多し。
住民 住民は、總數殆ど六百七十萬あり。其の密度は恰も我が國の二倍にして、世界中最も人口の稠密なる國とす。人種は、分れて、ネーデルラント族・ラテン族の二となり、前者はオランダ語を用ひ、後者はフランス語を用ふ。宗教は概ね舊教を奉じ、教育頗る發達せり。政治は立憲君主政治を行ひ、上下兩院より成る議會を有す。
産業 産業中農業は第一に位し、域内開拓遍く、耕耘懇切なるが故に、食物は國人需用の二倍を産すと云ふ。又石炭・鐵・錫等の礦物豊富なるを以て、工業盛なり。重なる製造品を織物類・玻璃機械等とす。交通機關完備し、殊に鐵道線路の延長は、

ルブル
ッセ
ワ
ー
テ
ル
ス
ア
ン
ペ
ル



面積に比して世界第一に居り、従つて**商業**盛大なり。重にフ

ランス・ドイツ・イギリスと取引し、我が國へは鐵器・玻璃を輸出す。
都邑 國都ブルッセル(BRUSSELS)は、殆ど國の中央に位し、市街華美、建築壯麗なり。我が公使館を置かる。市の南方なるワテロー(WATERLOO)は、ナポレオン一世の古戰場たるを以て有名なり。シエルデ河畔のアンペルス(AVENERS)は、繁榮なる開港場にして、ヨーロッパ大陸のリバプールと稱せられ、我が郵船會社の航路に當り、且我が領事館の所在地

國局十里百面
た外五人六積
り中萬口十約
立人二方

此大國殆す大此
陸のどる陸の
國に關す大我
對の陸が係對
るてのの同る

海總延岸
三延岸
千長線
里凡の

たり。

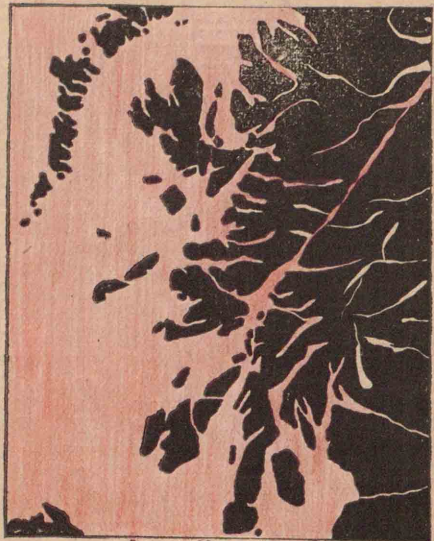
ルクセンブルグ大公國 此の國は、ベルギー・フランス・ドイツの間
に在る小獨立國にして、同名の首府あり。

第十一節 イギリス

位置・區劃 BRITISH ISLES イギリスは、ヨーロッパ大陸の北西に位する島
國にして、合衆王國と稱し、大ブリテン及びアイルランドの
二大島と、數百の小島とより成り、大ブリテンは、更にスコット
ランド・イングリランド及びウェールズの三部に分る。西方に大
西洋を受け、東方に北海を控へ、南方はイギリス海峽を隔て
て、フランスに對す。面積凡そ二萬方里、略我が國の六分の五
に當れり。

地勢 海岸は、一般に屈曲多く、良港に富み、殊にスコットラン

テムス
河
セバーン



ドの西岸には、峽江の深く内地に侵入するもの數多あり。地
形は、スコットランド及びウェールズには、山地多けれども、イン
グリランドの大部は平原に屬し、アイルランドも概ね平低な
り、河流の重なるものは、テムス・セバーンの二河にして平
原を貫流する故に、流勢緩く、且潮汐遠く上流に遡るを以て、
船舶自由に内地に至るの便あり。此の他の諸川も、概ね此と

性質を同じくし、而して幾多
の運河に由りて、互に連結す
る故に、漕運の利極めて大
なり。潮沼はスコットランド
に多く、其の形概ね狭長に
して、河道に當り、風光頗る明
媚なり。

江 峽

イギリスはヨーロッパ諸國の人口の半以上を以て其の言語を以て最も通用するものと云ふ

現存の古書は七世紀以前に

氣候 氣候は、灣流の影響を蒙り、概ね溫和にして、且雨量豊かなり。然れども、此の國の濃霧多くして、青天を見ること稀なるは、亦灣流より生ずる水蒸氣の凝集するに因る。

住民 住民は、總數四千餘萬、我が國よりも稍少し。人種は、ノール・ケルナの二族に分れ、人口の大部は前者に屬す。其の性質は、自尊心に富み、耐忍の志強く、フランス人と殆ど反對なり。言語は、謂はゆるイギリス語にして、宗教は新教盛行はるれど、アイルランドの人民は、多く舊教を奉ず。高等教育は頗る發達して、十餘個の大學を有し、初等教育も次第に改良進歩しつつあり。

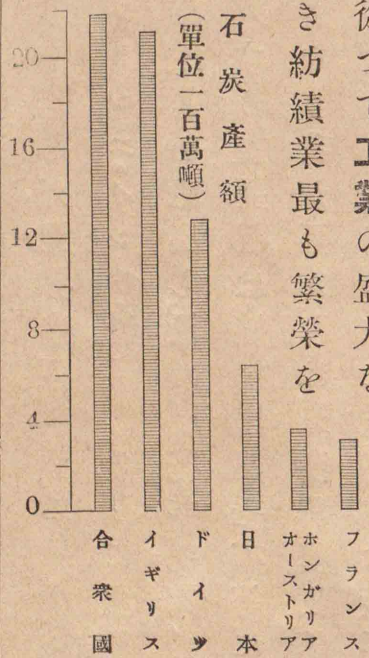
政治 政治は、立憲君主政體にして、國會は遠く五百年前の創設に係り、上下兩院に分る。陸軍は兵數少けれども、海軍は世界第一にして、地中海・大太平洋・大西洋等の諸艦隊より成る。

全領土を以て云ふ

屬地は甚だ廣大にして、其の面積は、地球上全陸地の五分の一、人口は世界總數の四分の一を占め、域内太陽の没することなしと云ふ。

産業 産業中農業は、各地に行はれ、小麦・大麥・馬鈴薯等を産すれども、國內の食物を供給するに足らず。牧畜は、スコットランド及びウエールスの高地に行はれ、沿海には漁業盛なり。又石炭と鐵とに富み、特に石炭の産額は、アメリカ合衆國に次ぎて、世界第二に位せり。従つて工業の盛大なること比類少く、中に就き紡績業最も繁榮を

極め、遠く他國の及ばざる所とす。又造船業も世界第一に居り、我が國の艦船は、此の國の造船所



鐵道の發
達は世界の
第一に共

ロンドン

ミウエス
イギリスの
王位に就
するの式

にて造られたるもの多し。商業も亦世界中匹敵する國なく、
アメリカ合衆國・ドイツ・フランス・インド・濠洲との間に貿易
盛に行はれ、石炭・綿布・毛布・鐵等を輸出し、穀類・棉花・羊毛・肉類
等を輸入す。我が國に輸入する重要品は、綿絲・鐵器・毛布等に
して、輸入價格最も多き國なり。我が國よりは、米・麥・稈・眞田等
を輸入す。交通は、各種の機關能く完備し、殊に航海業は、世界
第一位を占む。

都邑

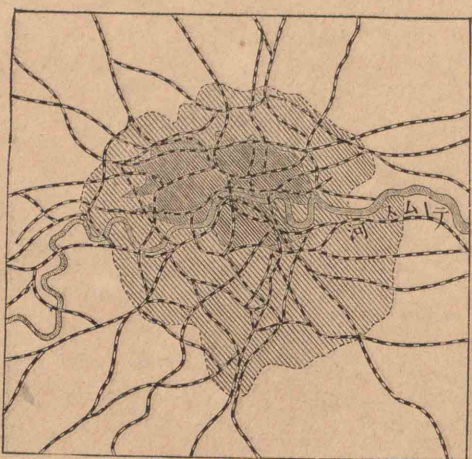
イングランド及びウェールズ 國都 **ロンドン** は、テム

ス河に跨り、人口四百五十餘萬、我が東京の三倍に餘り、世界
第一の大都會にして、市中の繁華言語に絶す。而して府の大
部は河の北に位し、王宮・ウェストミンスター寺・セントポール
寺・博物館及び國會議事堂等宏壯なる建築物數多あり。河の

所及其名
の古御し
るにの
墓に來
る地

グリニチ
天文臺

ガバ
ミン

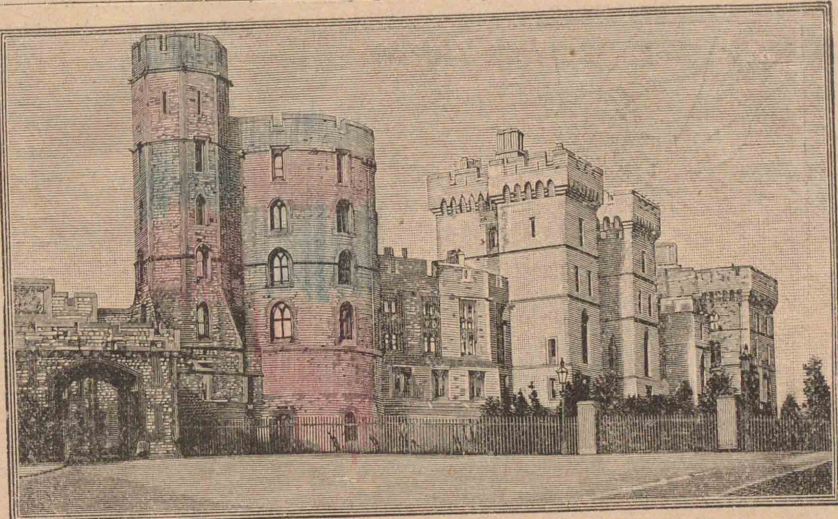


南には大工場多く、石炭の烟にて晝猶暗し。河の南北を連絡
する諸橋中、最も有名なるをロンドン橋とす。此の市は、世界
商業の中心にして、貿易繁盛を極め、我が郵船會社の航路に
當り、且公使館・領事館の所在地たり。市外の名所には、ウインズ
ル宮・水晶宮・グリニチ天文臺等あり。グリニチ天文臺は、萬國

本初子午線の通過點なるを以て
知らる。此より北方のケンブリヂ
には有名なる大學あり。西方のオ
クスフォードも亦大學を以て著
る。ポーツマスは、イギリス海峽に
臨み、世界最大の軍港を有す。バー
ミンガム(三八)は、殆どイングラン
ドの中央に位し、鐵器の製造を以

に初は問
係の世の
る數界鐵
設最道！チ！

スニ
ウー
カッ
ル
シエ
フイ
ー
リ
ー
ツ



て有名なり。アイルランド海に
臨めるリヴァプール(六八)は、國內
第二の開港場にして、主に棉花
を輸入し、綿布の製造品を輸出
す。此の地の東に在るマンチェス
ター(五四)は、世界第一の綿布製
造地として、其の名高し。凡そ此
宮の附近地方は、甚だ石炭に富み、
従つて工業盛にして、リーヅ(四
二)は、毛織業を以て著れ、シェフイ
ー(三八)は、双物製造に名高し。
東岸のハル(二一)は、貿易盛に行はれ、
ニウカッスル(二一)は、石炭の取引

エ
チ
ン
バ
ラ
グ
ラ
ス
ゴ
一
グ
ラ
ス
ゴ
一
河
附
近
の
エ
ス
コ
ッ
ト
ラ
ン
ド
の
首
府
に
し
て、
風
景
美
な
る
を
以
て
著
れ、
有
名
な
る
大
學
あ
り。
グ
ラ
ス
ゴ
一
七
三
は、
ク
ラ
イ
ド
河
に
跨
り、
イ
ギ
リ
ス
第
二
の
大
都
會
に
し
て、
商
工
業
盛
に
行
は
れ、
殊
に
造
船
業
を
以
て
有
名
な
り。
ア
イ
ル
ラ
ン
ド
の
首
府
を
ダ
ブ
リ
ン
三
八
と
云
ひ、
東
岸
に
位
し、
酒
の
釀
造
盛
な
り。
北
東
岸
に
瀕
す
る
ベ
ル
フ
ア
ス
ト
三
四
は、
商
工
業
盛
に
行
は
れ、
麻
布
製
造
を
以
て
著
る。

第十二節 イスパニア

位置 イスパニアは、イベリア半島の大部分を占むる地域
にして、フランスの南西に位し、ビスカヤ灣、地中海に臨み、又
シブラルタル海峡を隔てて、アフリカ洲に對す。面積凡そ三

我が國より稍大

萬餘方里あり。

地勢 海岸は、一般に屈曲に乏しく、南岸にカデス灣、東岸に

バレンシア灣あるのみ。島嶼には、バレンシア諸島あり。地形は、

河流の沿岸を除き、概ね高原にして、低地少く、主なる山脈に

は、フランスの境にピレネー山脈連なり、南岸にシエラネバダ

山脈連なる。河流は、地中海斜面にエブロ、大西洋斜面にグ

アダルGUADALQUIVIRキベル河あり。其の他上流を此の國に有する二三の

大河あれども、皆水量に乏しくして、交通の利少し。

氣候 内地は、一般に大陸性氣候にして、寒暑の差著しく、降

雨甚だ稀なれども、西部地方及び北部・東部の沿岸は、海洋の

影響を受け、溫和にして雨量多く、南部沿岸は暑氣強し。

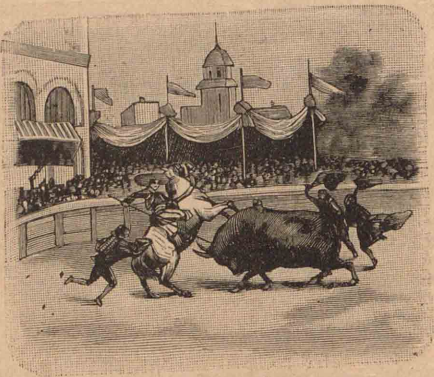
住民 住民は、總數凡そ一千八百萬にして、人種はケルナ・ラ

ナン・チャー・トーン・バスク等の諸族の混合より成り、一般に舊教

の國凡そ五我分

ピレネー山脈
エブロ河
グアダル
キベル河

騎馬と闘ふ現ア三
馬の國王ソル世
との王ヲ第
戦人オは十



闘牛の戲

を奉じ、大學の數九個あれども、教育は一般に普及せずして、無智の徒多く、闘牛の奇習あり。政治は立憲君主政體にして、國會は上下兩院より成る。往昔此の國は、アメリカ・アジア等に廣大なる屬地を有せしが、現在は唯アフリカに於て、本國より稍大なる地域を有する

に過ぎず。

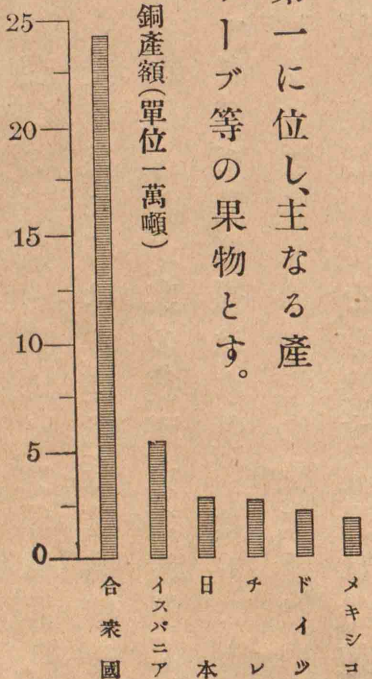
産業 産業中、農業は第一に位し、主なる産

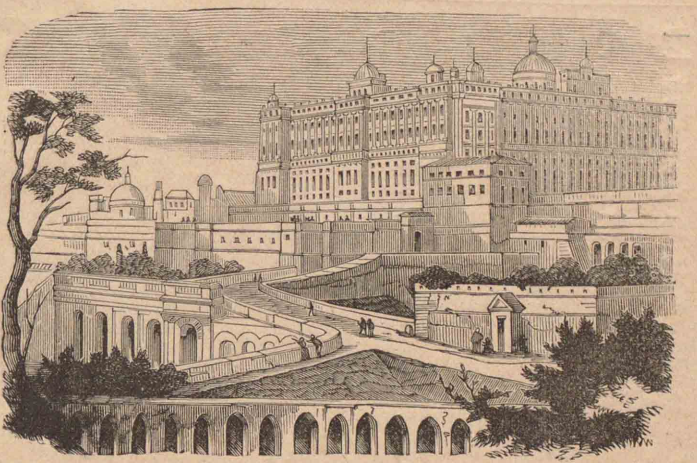
物を穀類及び葡萄・オリブ等の果物とす。

鑛物は甚だ豊富にして

て、銅の産額は世界第

二なり。其の外鐵・水銀・





宮王のドリドマ

鉛等の産額も夥しく、工業は絹織業稍盛に行はる。商業は昔時隆盛を極めしが、其の後國力の衰微に伴うて萎靡振はず。貿易は、主にフランス・イギリスとの間に行はれ、葡萄・鑛物等を輸出す。交通は鐵道漸次發達して、頗る便利なり。

都邑 國都マドリッド(五一)は、國

の中央に位し、ヨーロッパ中最高の

都會にて、名高き美術館あり。バル

セロナ(五三)は、地中海に瀕し、國中

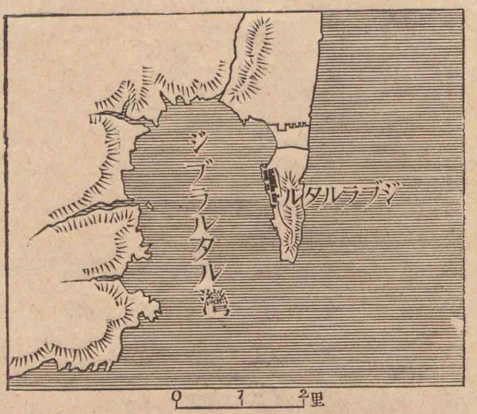
VALENCIA 灣頭のバレンシア(二〇)は、

CORDOVA 國の南部にコルドバ・セビリヤ・

マドリッドに千海面に在り 四百尺

アバレンシ

トラファルガル岬



第十三節

ポルトガル PORTUGAL

位置・地勢等

ポルトガルは、イベリア半島の一小部を占むる國にして、ヨーロッパの最西に位し、西と南とは大西洋に臨み、北と東とはイスパニアに接す。面積僅に六千方里、海岸は、イスパニアと同じく出入少し、地形は、イスパニア高原の

ガゼスの三市あり。ガゼスの南東に當るトラファルガル岬は、ネルソンの英名を輝しし處とす。

ジブラルタル GIBRALTAR 岬は、イスパ

ニアの南端に位する小半島にして、イギリス

に屬す。地中海の關門をなし、要害堅固なる處

なり。

凡そ我が國の二九分

ドイロ河等

餘勢を受けて、東部は概ね丘地に屬し、西邊に至りて低地稍廣し。主なる河流をドイロ・タホ・グアヂアナとす。共にイスパニアより來る長流にして、稍舟運の便あり。氣候は灣流の影響を受け、一般に溫和にして、雨量甚だ豊かなり。

住民其の他 住民は、總數凡そ五百四十三萬あり。人種・宗教・政治・産業等は、概ねイスパニアに同じ。財政は頗る困難にして、多額の國債を有す。屬地はアジア・アフリカ兩洲に在りて、其の面積凡そ本國に十五倍せり。此の國もイスパニアと共に、昔時は盛に航海貿易を營み、我が足利氏の末葉には、此の國人來りて、貿易及び布教を爲したることありき。貿易は、主にイギリス・ドイツとの間に行はれ、葡萄酒・ユルク・果實等を輸出す。

凡そ我が國の現國王は、第一世にカスティーリヤの國に在り

都邑 首府をリスボン(LISBON)と云ひて、タホ河口に位し、今尙

リスボン

商業盛に行はるれど、往時の繁榮には比すべくもあらず。ドイロ河口のオポルト(OPORTO)は、首府に亞ぐ都會にして、葡萄酒を輸出すること夥し。

第十四節 イタリヤ

(ITALIA(ITALY))

位置 イタリヤは、ヨーロッパ南部なる三大半島の一にして、其の形恰も長靴の如し。北はアルプ山脈を負ひて、フランス・スイス等を背にし、西と南とは地中海に臨み、東は一帯アドリア海に面す。面積一萬八千方里あり。

地勢 海岸は、南部に屈曲多く、而して西部は東部より多し。島嶼はシチリア・サルデニア等の大島を始めとして、西部に數多あり。アルプ山脈國の北境に蟠り、アペニン山脈半島部を縦貫するを以て、國內概ね山地に屬し、且其の間に火山多

我が國の三分の二は、海岸線に延び、約八百里あり。アルプ山脈等

ポー河



地行流アリラマ (處の内線横)

く、地震の襲來すること屢なり。火山
 中著名なるは、ベスビオ・エトナ及び
 ストロンボリとす。平原には、北部に
 ロンバルディア平原ありて、ポー河の
 流域に屬す。ポー河は此の國唯一の
 大河なれども、流勢急にして、水利少し。然れども、其の流域は、
 地味肥沃にして、農産豊かに、又風景美なるを以て著る。
 氣候 氣候は、大陸部の外は、概ね乾燥溫和にして、劇變なし。
 殊に四時大抵天色の清朗なるは、此の國氣候の長所とす。然
 れども、國內處々にマラリアの流行するは遺憾なり。
 住民 住民は、總數凡そ三千萬、人種上概ねラテン族に屬し、
 其の性優雅にして、文學・美術・音樂に長じ、古來ヨーロッパの文
 化に多大の影響を及したる國民なり。宗教は、一般に舊教を

源舊此
 地教の
 たの國
 り淵は

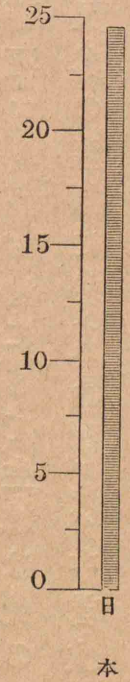
の國凡
 二のそ
 三我
 分が

世エオビ現
 なロエツ國
 り第マト王
 三メリは

多似我る藝蠶を火此
 したがこの美始山の
 る國と盛術め地國
 點に等な工養震は

奉じ、教育は、高等教育盛に行はれ、大學の數二十餘あれども、
 初等教育は比較的振はず。
 政治 政治は、立憲君主政體にして、國會は、上下兩院より成
 る。陸軍・海軍は共に強大なれども、財政は頗る窮せり。アフリ
 カに僅少の屬地を有す。
 産業 農産最も盛に行はれ、之に次ぐを工業とす。主なる農
 産を米・小麥・玉蜀黍とし、又葡萄・オリーブ・無花果・棗等の果物
 多く、牧畜・養蠶は北部に盛なり。鑛産の主なるものを硫黃・大
 理石・鐵とし、中にも大理石は、其の質良好なるを以て著る。工
 産中有名なるは、生絲・葡萄酒・オリーブ油にして、生絲は此の
 國の産物中第一に位し、又其の産額に於て、ヨーロッパ中首位
 を占む。珊瑚細工亦名あり。商業は、國の位置、歐亞兩洲間貿易
 の要路に當るを以て、頗る活潑にして、貿易は主にイギリス・

フランソ・ドイツ・アメリカ合衆國との間に行はれ、主に生絲絹物を輸出し、我が國よりは、主に生



絲を輸入す。交通の便は、他のヨーロッパ諸國と大差なし。

都邑 首府ローマ(四六)は、チベル河に跨り、昔時ローマ帝國

の首府、又ローマ法王の都たりしを以て、史上に有名なり。當

時は、ヨーロッパの文學・美術・法律の淵源たりし處にして、現今

もヨーロッパ美術の中心と稱せらる。されば古來の建築・繪畫

等を初めとし、著名の遺跡に富むを以て、各國よりの來遊者

甚だ多し。主なる建築物をコロシウム・セントペテロ寺・バチ

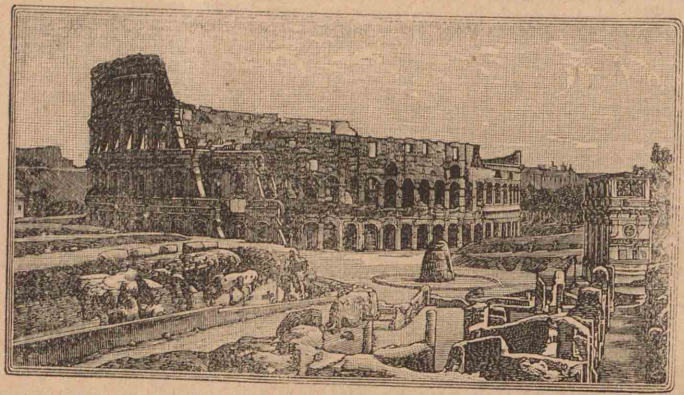
カン宮殿等とす。我が國の公使館亦此に在り。此の地の北西

ローマ 今尚所法た皇ロリ
ツフ エイレ

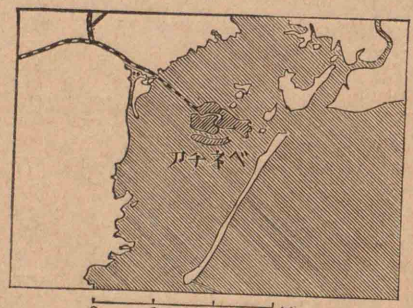
ルサド 鐵通 路
に 薩 沿 道

モ 薩 沿 道
に 薩 沿 道

多し。ベネチアは、同名の灣頭なる數多の小島上に位し、恰も水上に浮ぶが如く、市内には幾多の溝渠縱横に通じて、街路



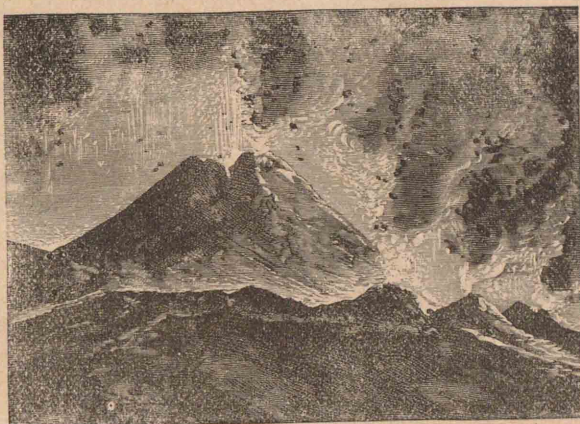
ムウシロコ



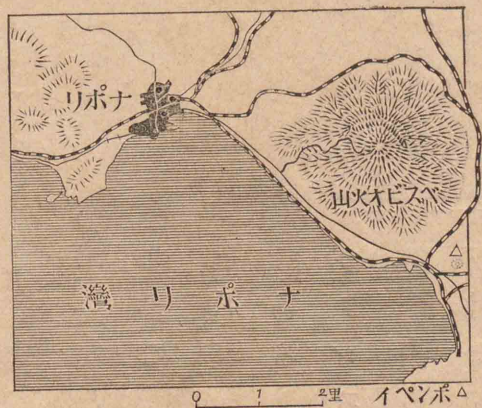
をなす。曾て世界屈指の開港場たりし處にして、今尚商業盛なり。ロンバルディア平原の中央なるミラノ(四九)は、スウイスとの通路に當り、絹織物業を以て著れ、ポー河に臨めるトリノ(三三)は、

フランスに通ずる要衝を占め、養蠶業盛行はる。ジェノバ(二二)は、同名の灣に臨み、國中第一の開港場にして、

ナポリ



山火オビスペ



商業頗る活潑なり。此の地の南東に當れるピザには、有名なる斜塔あり。

ナポリ灣に瀕するナポリ(五六)は、國中第一の大都會にして、ベスピオ火山に對し、氣候溫和、風光

ポンペイ等

明媚を以て著れ、又商業盛に行はる。古へ此の附近にポンペイ・ヘルクラネウムの二市ありしが、ベスピオ火山破裂し、噴出物を以て、全く二市を埋没せり。近世に至り、之を發掘して、

バルセルモ

凡そ二千年前の市街を見るを得たり。

シチリア・サルデニア シチリアは、イタリア半島の南西端に位置する地中海第一の大島にして島中にエトナ火山あり。主なる都會をバルセルモ(三二)と云ひ硫黄果實等を輸出す。サルデニアは、シチリアに亞ぐ大島にして、域内鑛物に富む。二島共にマリアの流行地たり。

サンマリノ SAN MARINO は、アドリア海岸に近き小共和國にして、面積僅に四万里、人口凡そ一萬なれども、古來連綿として、獨立を維持せり。

マルタ島 MALTA は、シチリアの南方に在りて、地中海に於ける重要の位置を占む。イギリスに屬し、其のバレッタ港は、同國地中海艦隊の根據地にして、要害堅固なり。

第十五節 バルカン半島

其の一 總論

位置・區劃 バルカン半島は、ヨーロッパの南部なる三大半島

の往事バル
起々件とカ
る紛とカン
處議て

バルカン
山脈等
ドナウ河

の一にして、北はロシア及びオーストリア、ハンガリアに接し、西と東とは、アドリア海・エーゲ海・黒海を隔てて、イタリア・小アジアに對し、南は地中海に面す。面積十九萬方里、人口凡そ二千萬あり。分れてモンテネグロ・セルビア・ロマニア・トルコ・ギリシア等の地域となる。此の半島は、ヨーロッパ列國の權力平均の焦點にして、頗る重要な位置を占む。
地勢 海岸は、屈曲多く、殊に南部に於て、幾多の小半島突出せり。又南部海岸より、南東エーゲ海には、島嶼錯雜し、カンヂア・エウボイア二大島を始めとして、イオニア諸島あり。域内バルカン山脈・ピンドス山脈等連亘し、ドナウ河沿岸の外は、概ね高原・丘地に屬す。主なる河流は、ドナウにして、其の本域に於ける部は、列國共通の航路たり。
氣候 氣候は、北部は大陸性にして、寒暑の差大なれども、南

り名一の我面
精古人四が積
少屋口分九凡
しよはの州そ

一十人九我面
八口分が積
分凡の國凡
のそ一のそ

下するに従ひ漸く溫暖となる。

其の二 各國誌

モンテネグロ

MONTENEGRO

モンテネグロは、ヘルゼゴビナの南東に位する小侯國にして、其の小部はアドリア海に臨めり。面積凡そ六千方里、人口凡そ二十三萬、人種はスラブ族に屬し、性勇敢にして、戰爭を好み、一般にギリシア教を奉ず。チチニエは其の首府なり。
セルビア
セルビア王國は、ボスニアの東に位し、面積三千二百方里、人口二



人ログネテンモ

前代に對する
王の派の
反對の
爲に
せられた
時國

凡そ
一の
三我
分が

凡そ
一の
八我
分が

ト國と
とアキ
とル
と云
とコ
と北
とアル
とふ
と帝

百三十餘萬、人種はスラブ族にして、多くはギリシア教を奉ず。政治は立憲君主政治を行ひ、首府をベルグラドと稱す。

ROMANIA

羅馬ニアは、セルビアの北東に當れる王國にして、面積八千五百方里あり。全國ドナウ河の流域に屬するを以て、地形概ね低平なり。氣候は大陸性なれども、地味は大抵肥沃にして、小麥等の農産物多く、牧畜亦盛に行はる。鑛物には石油、岩鹽等あり。住民は總數五百九十餘萬人、主にスラブ族とラチン族との混合種にして、一般にギリシア教行はれ、政治は立憲君主政體なり。首府をブカレストと稱す。

TURKEY

位置氣候

トルコは、バルカン半島の中部を占め、黒海・アドリア海等に接し、又マルマラ海・エーゲ海等を隔てて、小ア

凡そ
五の
九我
分が

凡そ
八の
四我
分が

皇
帝
の
別
稱

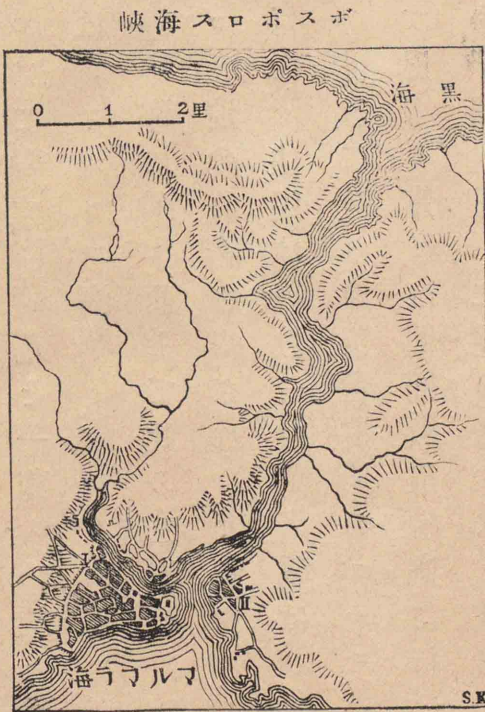
シアに對す。面積凡そ一萬六千餘方里あり。其のマルマラ海は、ボスポロス海峽と、ダルダネルス海峽とを以て、黒海及び地中海に通ず。而して此の二海峽は、何れの國の軍艦も、トルコ政府の許諾を得ざれば、通過するを得ず。

住民 住民は、總數一百万、人種はトルコ・ラチン・アルバニアの諸族に分れ、風俗習慣他のヨーロッパ諸國と異なりて、アジア風なり。宗教は回教最も盛に行はれ、ギリシア教之に次

ぎ、教育は觀るに足るものなし。政治は君主專制にして、皇帝は又回教の教主たり。陸軍は兵數に於て、ヨーロッパ第二に位すれども、實力は之に伴はず。又海軍も微弱なり。屬地はアジア・アフリカに亙り、其の面積本國に十倍し、人口は三十餘倍に及ぶと雖も、實際上本國の管轄を脱せるもの尠からず。産業 此の國は、地味概ね肥沃なるを以て、農業に適し、主な

る農産には、小麦、玉蜀黍あり。又薔薇油を名産とす。牧畜は、羊、牛、馬を飼養し、**工藝品**には、絹、革、毛氈等あり。外國貿易は、殆ど外人の手に在りて、主にイギリス、フランス等と取引す。交通は鐵道稍發達し、其の他の機關も、漸次進歩しつつあり。

都邑 首府をコンスタンチノプル（一一〇）と云ひて、ボスポ



ロス海峽に濱し、市内高塔多く、壯觀を極むと雖も、街路甚だ不潔なり。されど金角と稱する灣入ありて、頗る良港をなし、貿易活潑に行はる。アドリ

コン
チノ
スタ
ブタ

ボスポロス海峡

0 1 2里

コンスタンチノプル
リタクス 11

ADRIA

アノブルは、マリツァ河の左岸に位し、薔薇油の名産を以て著る。サロニキは、同名の灣頭に位し、貿易盛大なり。

カンヂア 本島は名義上トルコ領にして、地味甚だ肥え、**オリブ**、**葡萄**等の産あり。

ブルガリア ブルガリアは、域内バルカン山脈東西に貫通し、面積七千餘方里、人口三百七十萬、人種はスラブ族にして、主に**ギリシア**教を奉ず。名義上**トルコ**の屬地なれども、實際は獨立して、**立憲君主**政治を行ふ。首府をソフィアと稱す。

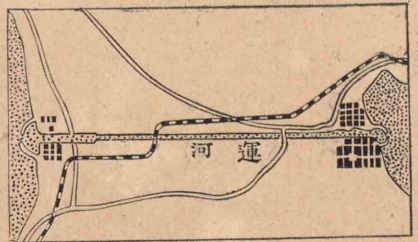
ギリシア

GREECE

位置 其他 ギリシアは、トルコの南に接して、バルカン半島の南端を占むる王國なり。面積四千餘方里、面積に比して**海岸線**の長きこと他に比類なく、又頗る島嶼に富み、エウボイア、スポラデス、キクラデス、イオニア諸島等あり。域内コンリト地峽に由りて、殆ど二分せられ、近時此の地峽に運河

凡そ六分が
その海岸線
の延長百餘
海里あり
總延長百餘
海里あり
運河の長さ
凡そ六分が

分國凡
ののそ
一十我
九が



を開鑿せり。

住民其の他

住民は總數二百四十萬、主に

古へのギリシア族にして、性質は稍輕佻なれども、文學を好み、且航海商業に長ぜり。宗教はギリシア教一般に行はれ、教育は振は

ず。政治は立憲君主政體にして、議會は一院制たり。氣候溫和、地味肥沃にして、農業に適し、乾

葡萄酒を初め、小麥・煙草・オリブ油等を産す。礦物も頗る多し。

都邑 首府アテネは、國の南東部に位し、昔時文學美術の最

も盛なりし地なり。附近のピレウスは、此の國第一の良港にしてコリントも亦碇舶に便なり。

CORINTH

PIRAEUS

地理教科書

外國 一一 終

明治三十六年十二月二十三日印
明治三十七年三月十一日訂正再版印刷
明治三十七年三月十四日發行

地理教科書外國
定價 二金四拾五錢
三金四拾五錢

著者 脇水鐵五郎

發行者兼印刷者 金港堂書籍株式會社
東京市日本橋區本町三丁目十七番地

代表者 原亮一郎
右社長
東京市下谷區龍泉寺町四百十四番地

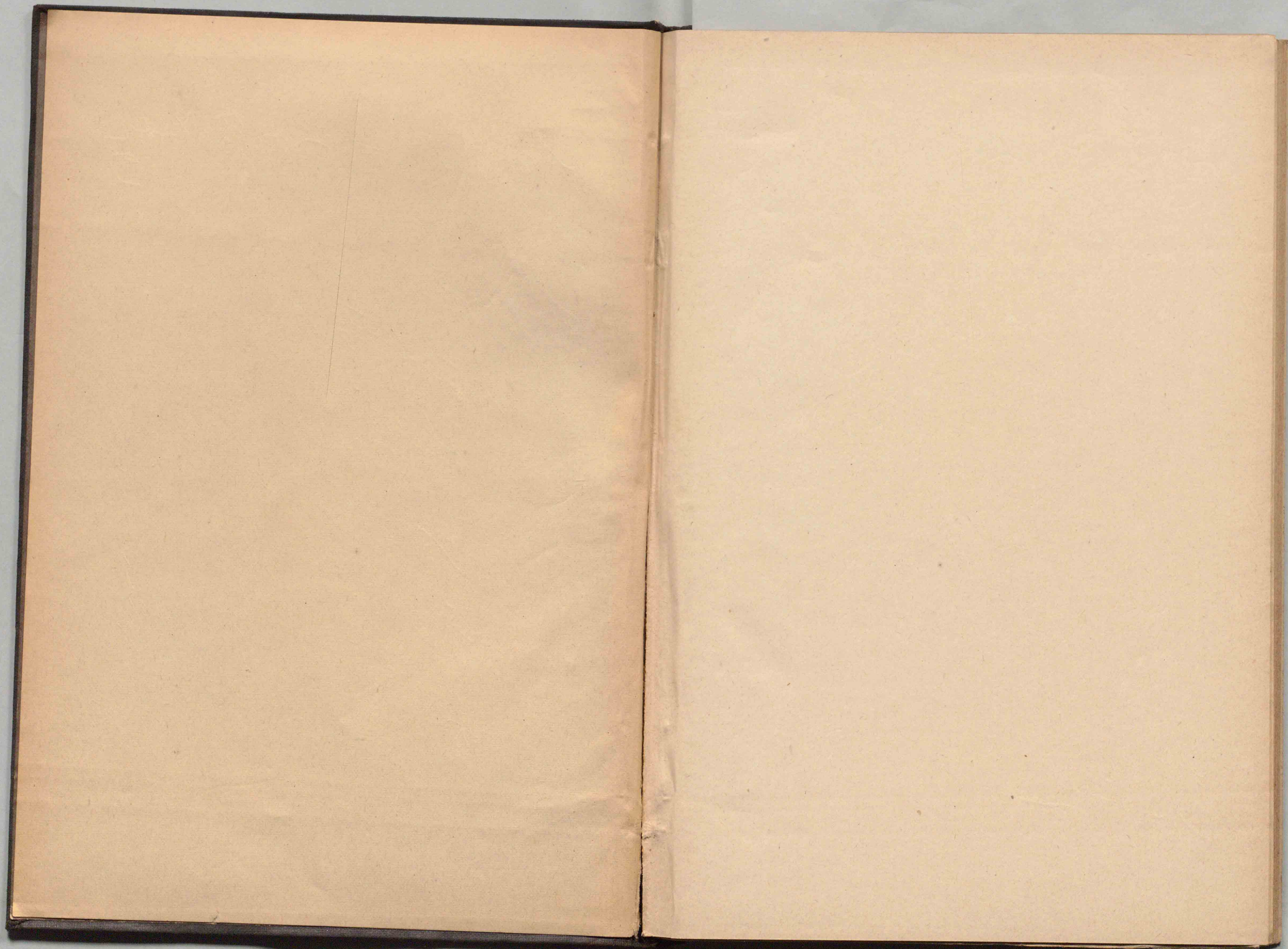
印刷所 帝國印刷株式會社
東京市京橋區築地三丁目十五番地

賣捌所 各府縣特約販賣所

不許複製

This book belongs
to F. Shisley.

Richy
This book belongs
to
C. M. C. 2



That work was to the [unclear]

the
shut work

in intensity

1/4
[unclear]
[unclear]
[unclear]

Dr. Shibe's
[unclear]

1/3

1/4
1/5

[unclear]
[unclear]
[unclear]
[unclear]

[unclear]
[unclear]
[unclear]
[unclear]

720
[unclear]

[unclear]

庫
04
334

広島大学図書

0130458334

